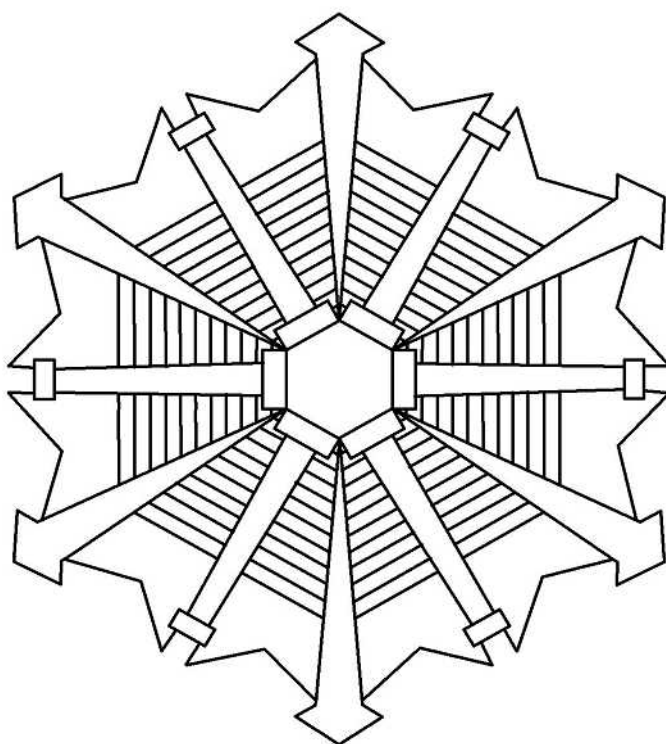


消 防 年 報

平成 29 年版



葉 山 町 消 防 本 部

町章



町の花

つつじ



町の木

くろまつ



町の鳥

うぐいす



ま え が き

この年報は、平成 28 年中（一部平成 28 年度等）における葉山町の消防現勢や実態を収録し、今後の消防行政の参考に資すると共に、消防に対する関心と認識を深めていただくことを目的として編集したものです。

なお、気象統計は消防署の観測によるものです。

平成 29 年 8 月

葉 山 町 消 防 本 部

目 次

【報告編】

第1章 消防・救助活動について

火災の状況	1
救助の状況	1
災害への出場状況	2
PA連携出場及び救命活動	2
消火活動及び救助活動体制の強化	2～3

第2章 多様化する災害への対応

車両整備状況	4
消防水利	4
NBC災害への対応	4

第3章 救急活動について

救急業務の実施状況	5
救急業務高度化の推進	5～6
応急手当の普及啓発	6

第4章 通信指令業務について

消防指令センター	7
119番通報受信状況	8
ファクスからの119番通報	8
インターネットを利用した119番通報	8
町民への災害発生情報の提供	9

第5章 予防行政

火災予防広報関係	10
防火対象物関係	11
危険物関係	12

住宅防火対策の推進	12～13
放火火災防止対策	13

第6章 消防団の活動

葉山町消防団の紹介	14
消防団の主な活動	14
消防団員の募集	14
消防団協力事業所表示制度	14

【資料編】

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ	15～32
--------------------------	-------

町勢

位置	33
面積・人口・世帯数	34
地区別情勢	34
人口の推移	35

消防情勢

消防本部・署・団設置	36
消防本部・署機構図	36
消防本部事務分掌	37～38
消防署事務分掌	38～39
消防本部・署・団情勢調	40
消防本部・署・団・車両一覧表	40
消防機器配置図	41

庶務関係

消防予算額	42
町予算と消防予算の比	42
消防費と人口・世帯の比	42
消防職員定員・実員	43

消防職員年齢	43
消防職員勤続年数	43
教育実施状況	44
特殊技能資格者	45

警防関係

火災概況	46
火災別比較	46
出火原因別火災発生状況	47
火災発生状況	48
火災覚知方法時間別状況	49
地区別火災発生状況	50
時間別火災発生状況	51
消防署の消防車両等の出場状況	52
消防署出場件数前年比較(27年中・28年中)	53～54
平成28年中出場件数	55
山中救助概要	56
消防本部・署現有車両機械	57
警防用機器資材	58～59
消防水利現勢	60
空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果	61
過去3年の枯草繁茂状況	61

指令関係

消防本部・署・団の通信施設	62
消防通信システム系統図	63
消防本部・署・指令センター回線一覧表	64
消防本部・署・指令センター通信機器一覧表	65
無線局配置状況	66
防災行政無線システム構成図	67
防災通信機器等一覧表	68～69
消防団通信機器等一覧表	70

119 番着信件数(固定・IP 電話含む)	71
携帯電話 119 番着信件数	71
Web119 を利用しての 119 通報件数	71
Web119 登録者数	71

気象関係

月別気象調	72
風向頻度調 (%)	73

予防関係

防火対象物・防火管理者選任状況	74
3 階建て以上防火対象物状況	75
防火対象物届出状況	76
その他届出状況	77
危険物関係届出状況	78
火災予防査察実施状況	79
危険物施設状況	80
地区別危険物施設状況	81
地区別危険物貯蔵取扱状況	81
危険物施設許認可処理状況	82
用途別建築同意等事務処理状況	83
地区別消防同意・確認通知・計画通知状況	84
過去 5 年間の消防同意・確認通知・計画通知状況	84

救急関係

救急概況	85
町内外在住別搬送人員状況	85
傷病程度別搬送人員状況	85
発生日別状況	85
救急救命士資格者及び再教育実施状況	85
救急出場・搬送人員状況	86
月別救急出場・搬送人員状況	87

過去5年間の救急出場・搬送人員状況	88
町内外在住別救急搬送人員状況	89
時間別救急出場状況	89
曜日別救急出場状況	90
覚知別救急出場状況	90
地区別救急出場状況	90
年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況	91
救急隊員の行った応急処置	92
収容状況	93
医療機関紹介状況	93
応急手当普及啓発活動実施状況	93
応援救急出場件数	94
受援救急件数	94

救助関係

救助概況	95
救助出場人員・活動人員状況	95
発生場所別救助人員状況	95
救助出場車両・活動車両状況	96
発生場所別救助出場（活動）状況	96
時間別救助出場（活動）状況	97
地区別救助出場状況	97

消防団関係

消防団組織図	98
消防団員定員・実員	98
消防団員報酬	98
消防団員出動費用弁償	98
消防団詰所所在地	99
消防団員配置	99
消防団員年齢	100
消防団員勤続年数	101

消防団出場状況 101

消防団現有車両機械 102

消防団備品配置 103

報 告 編

第1章 消防・救助活動について

1 火災の状況

● 火災件数

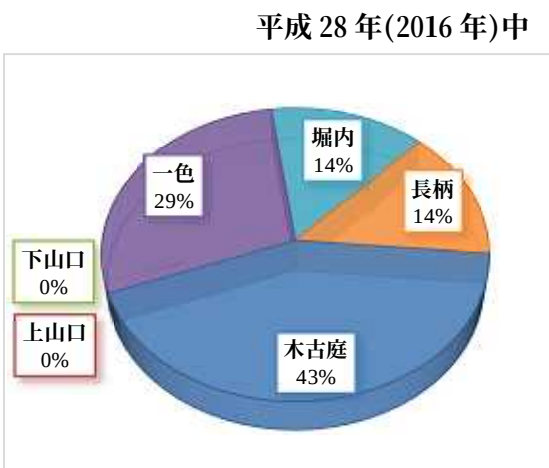
平成 28 年(2016 年)中の火災発生件数は 7 件でした。

火災種別ごとに見てみると、建物火災 6 件、車両火災 1 件でした。

前年と比較すると、建物火災と車両火災が 1 件ずつ増加しています。

● 地区別火災件数

地区別の火災件数は、木古庭 3 件、一色 2 件、堀内 1 件、長柄 1 件となっております。



地区別火災件数内訳

● 建物焼失面積と火災損害額

建物火災の焼失面積は 460 m²で、前年の 337.9 m²に対して 122.1 m²増加しています。

また、平成 28 年(2016 年)中の火災による損害額は 6,783 万 3 千円で、前年の 3,863 万 1 千円と比べ、2,920 万 2 千円増加しています。

● 火災による死傷者

平成 28 年(2016)中、火災による死者は 2 名、負傷者は 1 名です。前年と比較すると、死者は 2 名増加し、負傷者は 1 名減少しています。

2 救助の状況

● 救助出場について

平成 28 年(2016 年)中の救助出場件数は 30 件で、23 人を救出しています。

内訳としては、建物等による事故が 7 件、火災 3 件、交通事故 4 件、水難事故 7 件、山中における事故等を含むその他の事故が最も多く 9 件でした。

平成 28 年(2016 年)中

	出場件数(件)	救出人員(人)
火 災	3	2
交 通 事 故	4	6
水 難 事 故	7	1
建物等による事故	7	7
そ の 他 の 事 故	9	7
合 計	30	23

救助出場件数及び救出人員内訳

3 災害への出場状況

● 消防隊の活動について

平成 28 年(2016)中の消防隊は、火災や救助、傷病者の搬送支援や救命活動など救急隊の活動を消防隊が支援する PA 連携出場等、さまざまな災害等に出場しています。

平成 28 年(2016 年)中

内 訳	出場件数 (件)	出場人員 (人)	出場車両 (台)
火 災	6	219	50
救 助	30	434	141
危 険 排 除	10	55	23
偵 察	14	74	28
そ の 他	14	56	23
P A 連 携 出 場	74	348	140

※火災及び救助出場にあっては、消防団員及び消防団車両を含みます。

消防隊等出場状況

4 PA 連携出場及び救命活動

救急出場件数の増加を踏まえ、救急活動における搬送時間の短縮を図るため、PA 連携出場の運用を行っています。PA 連携出場とは、救急隊員のみでは対応が困難な事態に備えるため、要請の内容から必要と認められる場合には、救急車に加えて消防車を同時に出場させ、救急隊と消防隊とが連携した救急活動を行うものです。

平成 28 年(2016 年)中の PA 連携出場の出場種別ごとの件数は、救命 51 件、特定 23 件となっています。

PA 連携出場の出場基準は、次のとおりとなっています。

(1) 救命

119 番通報の状況から心肺機能停止状態が予想され、迅速な救命措置等が必要な場合。また救急隊現場到着時、心肺機能停止状態であり、迅速な救命措置が必要な場合。

(2) 特定

中高層マンション及び海水浴場などの救急隊員だけで傷病者の搬送が困難な場合。交通量が多い道路等での交通事故で傷病者や救急隊員等の安全を確保する必要がある場合や傷害事件などで、傷病者や救急隊員を保護する必要がある場合。

5 消火活動及び救助活動体制の強化

近年の複雑多様化する消防活動の困難性、危険性の増大に対し、消火・救助活動体制を強化するため、平成 24 年度から大型照明・クレーンを装備した救助工作車を運用しています。また平成 27 年度からは、CAFS 付ポンプ自動車の運用を開始しています。

救助活動現場も都市型へと変化し、特殊災害への対応も必要不可欠となっています。装備の充実や隊員の育成が求められており、消防学校や各種教育機関へ隊員を派遣し年間をとおり実践的な訓練を計画的に実施しています。

また、広域化する災害に対しては、他機関と合同での活動が要求され災害の規模、状況に応じた的確な活動が要求されています。

水難事故においても、初動体制の充実

が重要になり早期に活動できるように平成 22 年度から水難救助活動装備を配備し、海水浴シーズンは海上警備パトロールを実施しています。



第2章 多様化する災害への対応

1 車両整備状況

当町(1本部1署)では、町内で発生する様々な災害に対応するため、消防本部や消防署に隊員及び車両等を配置し、24時間体制で有事の場合に備えています。

平成29年(2017年)4月1日現在

車	種	台数
総	数	12
消 防 ポ ン プ 自 動 車		2
救 助 工 作 車		1
高 規 格 救 急 自 動 車		2
機 動 積 載 車		1
機 動 車		1
指 揮 車		1
資 材 搬 送 車		2
二 輪 車		2

保有車両



消防ポンプ自動車

2 消防水利

消防水利は、消火活動を行う上で、なく

てはならないもので、その種類には、消火栓、防火水槽、河川、池、プール、井戸等があります。

これらの配置等は国の基準である「消防水利の基準」により定められており、最も活用されているのは、消火栓と防火水槽です。

● 消火栓は水道配管に取り付けられているもので、町内に442基(平成29年(2017年)4月1日現在、私設も含む)が道路歩道上等に配置されています。

● 防火水槽は町内に158基(平成29年(2017年)4月1日現在、私設も含む)設置してあります。水道の断水・減水時や大地震時に消火栓が使用できないときの備えとして整備し、現在では、耐震性防火水槽の整備に努めています。

3 NBC災害への対応

NBC災害とは放射性物質(Nuclear)、生物剤(Biological)、化学剤(Chemical)による特殊災害のことを言います。この特殊災害に対応するため、NBC対応資機材を保有しています。

平成29年(2017年)4月1日現在

対 応 資 機 材	個 数
化 学 防 護 服	38
有 毒 ガ ス 測 定 器	1
酸素濃度(可燃性ガス)測定器	3
放 射 線 測 定 器	4
陽 圧 式 化 学 防 護 服	2
個 人 用 線 量 計	22
放 射 線 防 護 服	5

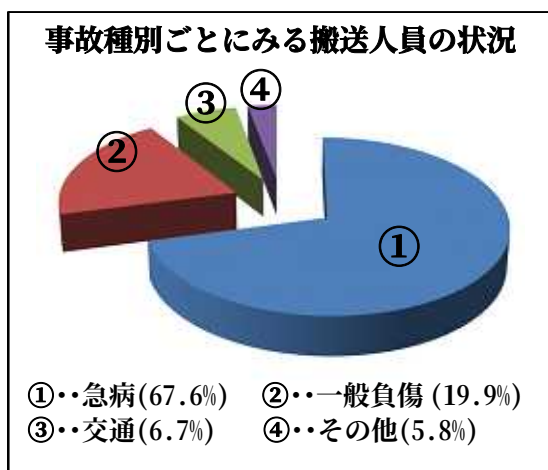
保有NBC対応資機材

第3章 救急活動について

1 救急業務の実施状況

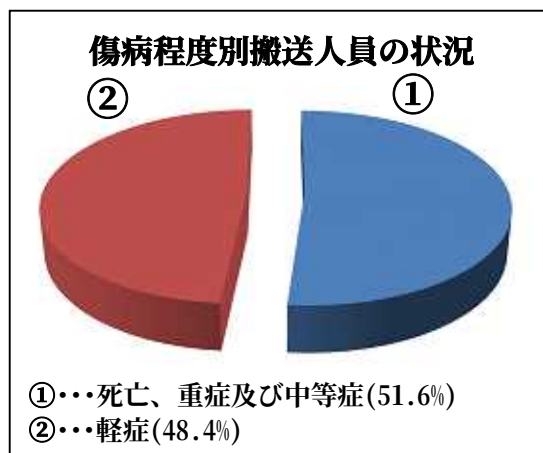
● 救急出場の状況

平成 28 年中における救急自動車による救急出場件数は 1,585 件、搬送人員は 1,499 人となっており、町民の 21 人に 1 人が救急隊によって搬送されたことになります。事故種別ごとにみると、搬送人員数が上位のものは、急病 1,013 人（構成比 67.6%）、一般負傷 298 人（構成比 19.9%）、交通 100 人（構成比 6.7%）となっています。



● 傷病程度別搬送人員の状況

平成 28 年中における救急自動車による搬送人員 1,499 人のうち、死亡、重症及び中等症の傷病者の割合は、全体の 51.6%、入院加療を必要としない軽症の傷病者は、48.4%となっています。



2 救急業務高度化の推進

● 救急救命士の処置範囲の拡大

(1) 除細動

平成 3 年の救急救命士法の施行以来、医師の具体的指示の下に救急救命士が実施していた除細動については、平成 15 年 4 月から医師の包括的指示の下で実施することが可能となっています。

(2) 気管挿管

平成 16 年 7 月から一定の講習及び病院実習を修了し、認定を受けた救急救命士に認められています。

また、気管内チューブによる気道確保を実施する場合に、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡を使用すると気道確保の安全性や確実性が高まることから、平成 23 年 8 月より追加講習及び病院実習を修了した救急救命士は、ビデオ硬性挿管用喉頭鏡が使用可能となっています。

(3) 薬剤投与

平成 18 年 4 月から一定の講習及び病院実習を修了し、認定を受けた救急救

命士に認められています。

更に平成21年3月よりアナフィラキシーショックにより、生命が危険な状態にある傷病者が、あらかじめ自己注射が可能なアドレナリン製剤（エピペン）を処方されている者であった場合には、救急救命士がアドレナリン製剤（エピペン）を投与することが可能となっています。

- (4) 心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液、血糖測定並びにブドウ糖溶液の投与
平成26年4月から一定の講習を受講し、認定を受けた救急救命士に認められています。

三浦半島地区では平成27年10月1日より運用が開始され救命率の向上や、後遺症の軽減に寄与するものと考えられます。

● メディカルコントロール体制の充実

メディカルコントロール体制とは、医学的観点から救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置等の質を保証する仕組みをいい、三浦半島地区（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）の医療機関と消防機関とが連携強化を図る体制が構築されています。

主な体制としては、以下のとおりです。

- (1) 救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置に対しての医師の常時指示、指導、助言体制。
- (2) 医師により医学的観点から検証が行われ、反映されるための事後検証体制。
- (3) 救急救命士が行う高度な救命処置等を

再教育するための病院実習。

- (4) 救急救命士の処置範囲拡大に伴う講習及び実習。

3 応急手当の普及啓発

救急出場要請から救急隊が現場に到着するまでに要した時間は、平成28年中の平均では6.9分であり、この間に救急現場に居合わせた人による応急手当が適切に実施されることで、大きな救命効果が期待されます。

当町でも救命講習の普及啓発を推進しており、実習を中心とした基本的な心肺蘇生法やAEDの安全な使用方法などについて講習を行い、受講者には修了証を交付しています。講習会は、「広報はやま」等の広報誌により、受講者の募集を行っています。

また、修了証等を交付する規定の講習時間や内容以外にも、要望に応じた「その他の救急講習」も行っています。



救急講習会風景

第4章 通信指令業務について

1 消防指令センター

火災、救急、救助等の出場は、そのほとんどが町民からの 119 番通報から始まります。

葉山町は、横須賀市と三浦市が平成 25 年 4 月から行っている 119 番通報の受付、消防車・救急車の出場指令を共同で行う「消防通信指令事務の共同運用」に平成 27 年 4 月 1 日から参画しています。

消防指令システムでは、119 番通報を受信すると、統合型位置情報システムと地図等検索装置によって、瞬時にその通報場所の地図を表示し、災害種別の決定と同時に

予告指令を行い、災害通報を受信中であることを通知して消防署に出場準備を促します。

消防指令システムは、すべての車両の位置等を常時把握しており、災害現場に最も早く到着できる出動隊を自動的に編成し、消防署へ出場指令の放送と指令書の出力を行います。

各車両に搭載している車両運用端末装置には、出場指令と同時に災害現場の地図と指令情報を表示させ、活動中には防火対象物、危険物、水利及び災害時要援護者などの支援情報を表示し、消防隊・救急隊は、これらの情報を活用して的確な現場活動を行っています。



横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター

2 119 番通報受信状況

平成 28 年（2016 年）中の葉山町内からの 119 番通報は、2,310 件あり、1 日平均約 6 件、約 228 分に 1 件の割合で 119 番を受信しています。

その内、固定電話からの通報は、562 件（24%）、携帯電話からの通報は、847 件（37%）、IP 電話からの通報は、901 件（39%）となっています。

受信内容については、火災・救急・救助等への出動要請が 1,680 件で 72.7%を占めていますが、特に緊急性のない災害・病院等の問い合わせ、いたずら、間違い・無言等の件数（訓練・試験を除く）が 458 件あり全体の 19.8%を占めていることから、適切な 119 番通報を心がけるよう呼びかけています。

平成 28 年（2016 年）中

		119 番全体	固定電話	携帯電話	IP 電話
緊急性あり	火災	28	4	13	11
	救急	1,568	345	516	707
	救助	12	1	10	1
	その他災害	12	0	7	5
	他都市転送	60	1	56	3
	小計	1,680	351	602	727
緊急性なし	問い合わせ	155	23	68	64
	いたずら	7	3	1	3
	間違い、無言	126	22	74	30
	その他	170	34	96	40
	小計	458	82	239	137
その他	訓練	132	94	5	33
	試験	40	35	1	4
	小計	172	129	6	37
合計		2,310	562	847	901

119 番通報受信状況

3 ファクスからの 119 番通報

耳や言葉の不自由な方から、火災・救急などへの出動要請を受信するため、119 番専用回線によるファクス通報を運用しています。さらに、平成 27 年 4 月 1 日から位置情報通知システムを活用し、より迅速な対応を図っています。

4 インターネットを利用した 119 番通報

聴覚障害がある人など、音声による緊急通報が困難な人が、携帯電話やスマートフォンで消防に緊急通報を行うことができる「Web（ウェブ）119 サービス」の運用を平成 26 年 7 月 1 日から開始しました。

このサービスは、事前登録した携帯電話やスマートフォンから、簡単なボタン操作により、GPS による位置情報を付加した緊急通報を行うことができ、その通報は、消防指令センターで受信します。

消防指令センターと通報者が文字により対話する機能（チャット機能）を使用し、通報場所の特定や状況の把握を、より詳細に行うことができます。

5 町民への災害発生情報の提供

消防指令センターでは、消防車がサイレンを吹鳴して緊急走行する災害事案について、災害発生場所と活動状況等を、消防本部テレホンガイドとホームページでリアルタイムに案内しています。

災害情報のご案内

テレホンガイド

046-824-8119

ホームページ

<http://hayama.fire.yokosuka.kanagawa.jp/saigai/hayama.html>



病院のご案内

葉山町消防本部

046-876-0119

第5章 予防行政

1 火災予防広報関係

町民の生命・身体・財産を火災から未然に防ぐため、さまざまな広報活動を行い、防火意識の向上を図っています。

● 火災予防運動

春、秋の火災予防運動期間中、消防車両による町内巡回広報や懸垂幕、のぼり旗及び消防庁舎に設置した電光掲示板による防火広報を行っています。



● 町内防火パレード

秋の火災予防運動期間中、消防団の協力のもと消防車両による町内防火パレードを行っています。



● 山火事防止広報

ハイキングコースを巡回し、老朽化した山火事防止看板の交換を行っています。また、ハイカーに防火チラシ及びポケットティッシュを配布し山火事防止を呼びかけています。



● 防火ポスターコンクール

毎年、町内の小学4年生を対象に幼少年期の防火意識の啓発及び向上を目的とした防火ポスターコンクールを行っています。平成28年度は207作品の応募があり、応募頂いた作品は町教育センター「学びの広場」で展示会を行い、また、優秀な作品の中から住宅用防災機器等普及啓発用広報ポスターを作製し、公共施設及び町内物販店舗等に掲出するなど町民の方々に広く火災予防を呼びかけています。



2 防火対象物関係

町内における防火対象物の消防検査及び関係者への防火指導、防火教育を行い、防火対象物からの出火を未然に防げるよう努めています。

● 防火対象物査察

年間を通して町内の宿泊施設・福祉施設・飲食店・物品販売店・その他の防火対象物の査察を積極的に実施しています。

消防用設備等の維持管理、避難施設の管理状況及び防火管理体制等を確認し消防法令違反に対しての是正指導を行い、安心安全な町づくりに努めています。



● 消防訓練

町内防火対象物の消防訓練時、職員の積極的な立会訓練を実施しています。

通報・消火・避難等の指導を行い事業所等の防火教育に取り組んでいます。



● 表示制度

平成24年5月に発生した広島県福山市のホテル火災を受け、火災被害の拡大防止対策の一環として「防火対象物に係る表示制度」が開始されました。

この制度は、ホテル・旅館等からの申請に基づき消防機関が審査し、消防法令や建築基準法令に定められた防火安全の基準に適合していると認められた場合に消防機関から表示マークを交付するものです。葉山町では2施設に表示マークを交付し、町ホームページに掲載しております。

この制度により、ホテル・旅館等の利用者に対し、建築物の防火安全に関する情報を提供することを目的としています。



3 危険物関係

町内で危険物を貯蔵・取扱う施設等からの火災及び流出事故を未然に防ぐことを目的とする取組みを行っています。

● 危険物安全週間

6月の危険物安全週間には、危険物施設からの火災及び流出事故を未然に防止することを目的として町内危険物施設の査察を行っています。

また、葉山町危険物安全協会会員を対象に安全研修会を行っています。



● 路上査察等

秋の火災予防運動期間中、危険物移動タンク貯蔵所及び危険物運搬車両による事故を未然に防止するため、常置場所及び消防庁舎前において査察を行っています。



4 住宅防火対策の推進

建物火災のうち住宅火災の占める割合は高く、多くの高齢者が犠牲となっています。住宅火災による死者の発生を防止するため、住宅防火対策への取り組みを行っています。

● 住宅用防災機器等の展示

消防本部エントランスに住宅用防災機器等を展示し普及啓発を行っています。



● 住宅用火災警報器

平成28年6月で住宅用火災警報器の設置義務化から10年を迎えました。しかしながら、いまだに未設置世帯が2～3割ある状況です。今後も未設置世帯に対し住宅用火災警報器の重要性を訴え早期の設置を促します。また、既に設置している世帯には、定期的な点検と設置から10年以上経過している機器は、本体内部の電子部品が劣化し火災を感知しなくなることが考えられるため、本体の交換を推奨するなど、適切な維持管理等について広報指導を行い、町民の生命、財産を火災から守れるよう努めています。

● 住宅用防災機器等

住宅における出火防止や消火・避難等の対策には、安全装置が設置されている暖房器具・調理器具の使用や住宅用消火器・エアゾール式簡易消火具・住宅用自動消火装置・住宅用スプリンクラー設備等の設置が有効と考えられることから、これらの普及について積極的に推奨しています。

5 放火火災防止対策

出火原因のトップは、「放火」によるものです。放火防止対策について「放火されない環境づくり」を目指し取り組んでいます。

● 放火火災に対する地域の対応力の向上

放火されない環境をつくるには、地域住民一人ひとりが放火火災に対する注意を心がけるとともに行政機関、関係団体、事業所、町内会と住民が一体となって放火火災対策に取り組むことが重要です。屋外に可燃物を放置しないことや自動車・バイク等のボディカバーに防災品を使用することなどの防火対策について、広報紙・ホームページ等により情報提供し、また、町内会等地域住民に対する防火指導を通じ、防火意識の向上に努めています。

● 物品販売店舗における放火火災の防止対策の徹底

死角となりやすいトイレやバックヤードの整理整頓、従業員や警備員による巡回及び監視機器の設置等、放火防止対策に努めるよう指導しています。

第6章 消防団の活動

1 葉山町消防団の紹介

消防団の活動は、特別なことではありません。「自分たちのまちは自分たちで守る」その意識だけで参加できるのです。葉山町内でも、会社員、自営業、いろいろな方が地域の分団（木古庭・上山口・下山口・一色・堀内・長柄）に入団し活動しています。



第50回神奈川県操法大会出場(第4分団)

2 消防団の主な活動

- 葉山町で火災が発生した場合、消防署の消防隊と連携した消火活動を行っています。
- 台風や大雨等による風水害の発生に備え、各詰所に参集し、警戒活動を行っています。
- 防火水槽や消火栓等の消防水利の点検、地理状況等の把握を行っています。
- その他、各分団長が計画する訓練等地域の実情に応じた活動を行っています。

3 消防団員の募集

平成17年4月1日から消防団員任命資格が改正され、葉山町在勤者につきましても入団ができるようになりました。葉山町に在住及び在勤されている人で、通常は各自の職業に従事しながら火災・風水害・地震等の災害に際して消防活動に従事する消防団員を募集しています。

4 消防団協力事業所表示制度

消防本部では消防団員の約67%が被雇用者であることから、消防団員を雇用する事業所の消防団活動への一層の理解と協力を得るために、消防団活動に協力している事業所を顕彰する「消防団協力事業所表示制度」を実施しました。「消防団協力事業所表示制度」とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。「消防団協力事業所」として認められた事業所は、取得した表示証を社屋に提示でき、表示証のマークを自社ホームページなどで広く公表することができます。



資 料 編

葉山町消防本部・葉山町消防団のあゆみ

昭和 22 年 (1947)	消防団令が公布される。 「葉山町警防団」は「葉山町消防団」に改称される。 初代消防団長 佐川正雄 就任 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、副班長 35 名、団員 237 名、計 323 名 消防ポンプ自動車 1 台 三輪消防ポンプ自動車 1 台 腕用ポンプ 8 台
昭和 23 年 (1948)	御用邸より手びきガソリンポンプ 1 台を借用し、下山口に配置する。 消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 35 名、団員 342 名、計 393 名
昭和 25 年 (1950)	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 3 台を購入し、木古庭、上山口、長柄に配置する。
昭和 26 年 (1951)	第 2 代消防団長 矢嶋儀助 就任 腕用ポンプ 2 台を廃棄する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、下山口に配置する。
昭和 27 年 (1952)	御用邸より借用していた手びきガソリンポンプを返納する。 三輪消防ポンプ自動車（52 年型ニッサン R2B）2 台を購入し、下山口、一色に配置する。 上山口の消防器具置場を移転改修する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を上山口分教場に配置替えする。 一色に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を長柄に配置替えする。
昭和 29 年 (1954)	小型動力ポンプ（トーハツ VD-50）C-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車の修理改造を行う。

昭和 30 年 (1955)	第 3 代消防団長 伊原 若 就任								
昭和 31 年 (1956)	木古庭の消防器具置場を増築する。 木古庭と長柄にサイレンを設置する。 38 年式フォード消防ポンプ自動車 1 台を購入し、木古庭に配置する。								
昭和 32 年 (1957)	腕用ポンプ 5 台を廃棄する。								
昭和 33 年 (1958)	小型動力ポンプ（トーハツ VF-3）B-3 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ（トーハツ VD-50、トーハツ VF-48）2 台を廃棄する。 消防ポンプ自動車（トヨタ FC70 型）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車を一色に配置替える。 一色に配置の三輪消防ポンプ自動車（52 年型ニッサン R2B）を長柄に配置替える。 長柄に配置の 36 年式フォード三輪消防ポンプ自動車を廃車する。								
昭和 34 年 (1959)	小型動力ポンプ積載用として、三輪車（マツダ 56CLY81 型）1 台を購入し、上山口に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-48）B-3 級 1 台を購入し、一色に配置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VE-3）C-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 長柄に詰所を新築する。（木造平屋建、34.65 m²）								
昭和 35 年 (1960)	消防団の定員を改正する。 団長 1 名、副団長 2 名、分団長 6 名、副分団長 7 名、班長 26 名、団員 156 名、計 198 名 <table> <tr> <td>消防ポンプ自動車</td><td>3 台</td></tr> <tr> <td>三輪消防ポンプ自動車</td><td>2 台</td></tr> <tr> <td>小型動力ポンプ</td><td>7 台</td></tr> <tr> <td>三輪積載車</td><td>1 台</td></tr> </table>	消防ポンプ自動車	3 台	三輪消防ポンプ自動車	2 台	小型動力ポンプ	7 台	三輪積載車	1 台
消防ポンプ自動車	3 台								
三輪消防ポンプ自動車	2 台								
小型動力ポンプ	7 台								
三輪積載車	1 台								

昭和 36 年 (1961)	下山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 52.69 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。
昭和 37 年 (1962)	一色に配置の 37 年式ダッチ消防ポンプ自動車を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-S) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、長柄に配置する。 木古庭と長柄に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VD-50) を廃棄する。
昭和 38 年 (1963)	第 4 代消防団長 森谷米吉 就任 小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 下山口にサイレンを設置する。 木古庭に配置の 38 年式フォード消防ポンプ自動車を廃車する。
昭和 39 年 (1964)	葉山町役場に火災報知専用電話 (119 番) を設置する。 上山口に配置の三輪積載車 (マツダ 56CLY81 型) を廃車する。 小型動力ポンプ (ラビット P402-M) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 一色に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 87.81 m²) 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-50) を廃棄する。
昭和 40 年 (1965)	第 5 代消防団長 萩原宏之助 就任 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の三輪消防ポンプ自動車 (52 年型ニッサン R2B 型) を廃車する。
昭和 41 年 (1966)	上山口に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 91.92 m²) 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 堀内に詰所を新築する。(鉄筋コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 107.52 m²)

昭和 42 年 (1967)	木古庭に詰所を新築する。(コンクリートブロック 2 階建、延べ面積 81.98 m²) 長柄の詰所を増築する。(木造平屋建、68.57 m²) 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 消防職員 実員 1 名
昭和 43 年 (1968)	葉山町消防本部発足。(3 月 29 日、葉山町一色 2155 番地) 初代消防長 細谷辰三郎 就任 神奈川県衛生部より救急自動車 (トヨタダイナ 43RK-171V 改) 1 台を消防本部に貸与され、救急業務を開始する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40E) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FC70 型) を廃車する。 消防職員 実員 12 名
昭和 44 年 (1969)	小型動力ポンプ (ラビット P403-M) B-3 級 2 台を購入し、木古庭、一色に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VF-48) を廃棄する。 消防本部に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) と、一色に配置の小型動力ポンプ (ラビット P403-M) を配置替える。 防火水槽 (40 m³ 下山口、長柄) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ-55) A-2 級 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防職員 実員 15 名
昭和 45 年 (1970)	指令車 (ニッサンプリンスグロリア HA-30) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防無線を設置する。 基地局 1 基 10W、移動局 3 基 10W、携帯 2 基 1W 葉山町消防庁舎落成 (4 月 1 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート 3 階建、延べ面積 521.972 m²) 防火水槽 (40 m³ 木古庭、堀内) 2 基を設置する。 消防ポンプ自動車 1 台 救急自動車 1 台 指令車 1 台 小型動力ポンプ 1 台 消防職員 実員 19 名

昭和 46 年 (1971)	葉山御用邸焼失 (1 月 27 日) 水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 2 基 10W 広報車 (トヨタマーク II RT77) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。
昭和 47 年 (1972)	救急自動車 (トヨタ RH18V) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 防火水槽 (40 m³ 一色) 1 基を設置する。 消防職員 実員 22 名
昭和 48 年 (1973)	防火水槽 (40 m³ 上山口) 1 基を設置する。 小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ VE-3) を廃棄する。
昭和 49 年 (1974)	消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン JR-FRB) を廃車する。 消防職員 実員 27 名
昭和 50 年 (1975)	小型動力ポンプ (ラビット P306) C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-S) を廃棄する。 消防ポンプ自動車 (ニッサン FHN60BD-I 型) A-2 級 2 台を購入し、木古庭、上山口に配置する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (62 年式プリンススーパーマイラー) を廃車する。 木古庭、上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306、ラビット P402-S) を廃棄する。 消防無線機増設。携帯 2 基 1W 消防職員 実員 28 名
昭和 51 年 (1976)	日本船舶振興会より小型動力ポンプ積載車 (ニッサン HF-20 改) 1 台と小型動力ポンプ (ラビット P502-S) B-2 級 1 台の寄贈を受け、一色に配置する。

昭和 52 年 (1977)	第 6 代消防団長 永津義次 就任 堀内の詰所を小型動力ポンプ積載車配置のため改築する。 小型動力ポンプ積載車(スズキキャリアH-L50 改)2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ(ラビット P306)を堀内に配置替える。 堀内に配置の小型動力ポンプ(ラビット P402-M)を廃棄する。 日本消防協会より広報車(三菱ギャラン H-A112V 改)1 台の寄贈を受け、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車(トヨタマーク II RT77)を廃車する。 指令車(トヨタマーク II E-MX40)1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車(ニッサンプリンスグロリア HA-30)を廃車する。 積載車(ダイハツ S60PD)1 台を購入し、消防署に配置する。 固定局を設置する。1 基 10W 無線式サイレン吹鳴装置を設置する。 消防職員 実員 33 名
昭和 53 年 (1978)	消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-I 型)A-2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)を廃車する。 消防無線機増設。携帯 1 基 1W 救急自動車(トヨタ RH42VB-J)1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車(トヨタダイナ RK-171V)を廃車する。 防火水槽(40 m³ 堀内)1 基を設置する。 消防職員 実員 34 名
昭和 54 年 (1979)	消防ポンプ自動車(ニッサン FHN60BD-I 型)A-2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン FR-40)を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 街頭消火器(20 型 ABC 粉末)80 基を堀内、一色に設置する。
昭和 55 年 (1980)	第 2 代消防長 尾崎 昇 就任 消防ポンプ自動車(ニッサン FH61BD-I 型)A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車(トヨタ FJ-55)を廃車する。 街頭消火器(20 型 ABC 粉末)70 基を堀内、一色、下山口に設置する。

昭和 56 年 (1981)	防火水槽 (40 m³ 上山口、下山口、堀内) 3 基を設置する。 水槽付消防ポンプ自動車 (ニッサンディーゼル K-CM85C 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車 (いすゞ TXG10) を廃車する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 80 基を堀内に設置する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。
昭和 57 年 (1982)	消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改 BD-I 型) A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (ニッサン FR-40) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (ラビット P306) を廃棄する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 83 基を一色、堀内、長柄に設置する。 消防無線機増設。基地局 1 基 10W 予備機、携帯 1 基 5W
昭和 58 年 (1983)	救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ RH18V) を廃車する。 小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (ラビット P402-M) を廃棄する。 広報車 (ニッサンブルーバード L-VJ910 改) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防本部に配置の広報車 (三菱ギャラン H-A112V 改) を廃車する。 街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 81 基を一色、堀内に設置する。
昭和 59 年 (1984)	街頭消火器 (20 型 ABC 粉末) 208 基を木古庭、上山口、下山口、一色、堀内、長柄に設置する。

昭和 60 年 (1985)	第 3 代消防長 小峰和夫 就任 第 4 代消防長 鈴木寶三郎 就任 軽トラック（ダイハツ M-S664WD）1 台を購入し、消防本部に配置する。 指令車（ニッサンブルーバード E-U11 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車（トヨタマーク II E-MX40）を廃車する。 積載車（三菱 M-U11V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（ダイハツ S60PD）を廃車する。
昭和 61 年 (1986)	第 7 代消防団長 石川清治 就任 救急自動車（トヨタ L-YH71VB）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ RH42VB-J）を廃車する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 長柄に詰所を新築する。（鉄骨平屋建、93.61 m²）
昭和 62 年 (1987)	小型動力ポンプ（富士ロビン P303BS）C-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 消防救急指令装置（富士通ゼネラル HA-305）、無線統制台（富士通ゼネラル RC-6033）を導入し、運用開始する。 葉山町防災行政無線遠隔制御装置を設置する。 消防職員 実員 38 名
昭和 63 年 (1988)	第 8 代消防団長 矢島正治 就任 小型動力ポンプ（ラビット P303BS）C-1 級 1 台を購入し、長柄に配置する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P306）を廃棄する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改 BD-I 型）A-2 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）を廃車する。
平成元年 (1989)	広報車（スバルレガシィ E-BF3 改）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の広報車（ニッサンブルーバード L-VJ910 改）を廃車する。 小型動力ポンプ（トヨタ T66B4）C-1 級 1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ（ラビット P502-S）B-2 級を廃棄する。

平成 2 年 (1990)	小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S80P 改）1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車（ニッサン HF-20 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）A-2 級を廃車する。 防火水槽改修を行う。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W 消防団車両 9 台に消防無線受令機を設置する。 救急自動車（トヨタ U-LH129S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 1 基 5W 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン T-FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD-I 型）を廃車する。 消防ポンプ自動車（三菱 U-FG337C 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FH61BD-I 型）を廃車する。 木古庭の詰所を移転新築する。（鉄骨 2 階建、延べ面積 177.493 m²） 第 37 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名
平成 3 年 (1991)	第 5 代消防長 大竹二郎 就任 小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S83P 改）1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車（スズキキャリーH-L50 改）を廃車する。 水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ U-FRR32DBV 改）A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車（ニッサンディーゼル K-CM85C 改）を廃車する。 消防職員 定員 40 名 実員 40 名

平成 4 年 (1992)	機構改革により消防本部に防災係を設置する。 防災車（トヨタ L-KE72V）1 台を消防本部に配置する。 第 38 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 消防職員 定員 43 名 実員 43 名
平成 5 年 (1993)	第 10 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 18 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 積載車（三菱 V-U42V 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱 M-U11V 改）を廃車する。 「甲部隊」「乙部隊」を「第 1 警備隊」「第 2 警備隊」に改称する。 消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改）A-2 級 1 台を購入し、 下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60BD- I 型）を 廃車する。 本団、各分団に消防無線を設置する。携帯 15 基（5W×3 基、1W ×12 基） 消防職員 定員 43 名 実員 43 名
平成 6 年 (1994)	防災車（トヨタ U-LH119V 改）1 台を購入し、消防本部に配置す る。 消防本部に配置の防災車（トヨタ L-KE72V）を廃車する。 葉山町防災行政無線増設。携帯 2 基 5W 第 11 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 19 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 ほふく救出） 第 39 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防無線更新。携帯 3 基 5W 高規格救急自動車（トヨタ Z-UZH132S）1 台を購入し、消防署に 配置する。 消防署に配置の救急自動車（トヨタ L-YH71VB）を廃車する。 消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60）1 台を購入し、長柄に配 置する。 長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FHN60）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 7 年 (1995)	第 6 代消防長 高木太郎 就任 消防庁舎新築工事着工 兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）発生に伴い 4 名を派遣する。 （第 1 次派遣隊、第 2 次派遣隊共に兵庫県兵庫消防署へ派遣） 第 12 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。

平成 8 年 (1996)	(出場種目 ほふく救出) 第 20 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 消防ポンプ自動車 (ニッサン Z-FGY60 改) 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車 (トヨタ FJ60V 改) を廃車する。 教材用として葉山小学校へ寄贈する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 新葉山町消防庁舎落成 (11 月 24 日 葉山町堀内 2050 番地 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上 3 階地下 1 階、救助訓練施設併設、延べ面積 2,558.77 m²) 消防緊急通信指令装置 I 型 (富士通ゼネラル H-315) を整備し、運用を開始する。 無線式サイレン吹鳴装置を更新整備する。 防火水槽 (40 m³ 堀内) 1 基を設置する。 旧消防庁舎を解体する。 小型動力ポンプ (ラビット P380LM) C-1 級 2 台を購入し、上山口、堀内に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15A) C-1 級を廃棄する。 堀内に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V15AS) C-1 級を廃棄する。 小型動力ポンプ (ラビット P475S-DX・V) B-3 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 軽トラック (スバル V-KS4 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の軽トラック (ダイハツ M-S664WD) を廃車する。 第 13 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 21 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ほふく救出) 第 40 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 9 年 (1997)	日本損害保険協会より救助工作車 (ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改) 1 台の寄贈を受け、消防署に配置する。 広報車 (三菱 E-CD5W 改) 1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の指令車 (ニッサンブルーバード E-U11 改) を廃車する。 消防本部に配置の広報車 (スバルレガシー E-BF3 改) を廃車する。

平成 10 年 (1998)	る。 第 14 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 22 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防無線機増設。移動局 1 基 10W、携帯 2 基 5W 消防無線全国波を導入する。 下山口の詰所を移転新築する。(鉄骨 1 階建、85.05 m²) 下山口に防火水槽 (40 m³) 1 基、一色に防火水槽 (20 m³) 1 基を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 第 7 代消防長 本田恒雄 就任 葉山町女性防火防災クラブ発足 78 名 第 15 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 23 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 41 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防署に配置の救急自動車 (トヨタ L-YH71VB) を廃車する。 小型動力ポンプ (富士ロビン P380) C-1 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ (トーハツ V30AS) B-3 級を廃棄する。 防火水槽 (40 m³: 下山口、一色 20 m³: 一色 2 基、堀内、長柄) 6 基を設置する。 葉山町行政改革大綱に基づき、課制を導入。 消防本部 1 課 (消防総務課)、消防署 2 課 (警備第 1 課、警備第 2 課) に改める。 小型動力ポンプ (ラビット P265M 型) D-1 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 11 年 (1999)	下山口に配置の小型動力ポンプ (富士ロビン P303BS) C-1 級を廃棄する。 第 16 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 第 24 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過) 上山口の詰所を新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 消防職員 定員 47 名 実員 46 名

平成 12 年 (2000)	第 17 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ渡過) 第 25 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 42 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 高規格救急自動車(トヨタ GE-VCH32S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 13 年 (2001)	消防署に配置の救急自動車(トヨタ U-LH129S)を廃車する。 第 8 代消防長 行谷正道 就任 一色の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 117.75 m²) 第 18 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 26 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 消防ポンプ自動車(日野 KK-XZU371M 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車(三菱 U-FG337C 改)を廃車する。 湘南国際村内消火栓 8 基(上山口 5 基、下山口 3 基)葉山町に帰属。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 14 年 (2002)	第 9 代消防団長 伊東正悦 就任 第 19 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 27 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 43 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 15 年 (2003)	第 10 代消防団長 石井建一 就任 堀内の詰所を移転新築する。(鉄骨 2 階建、延べ面積 113.96 m²) 第 20 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 第 28 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 ロープブリッジ救出) 消防ポンプ自動車(日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の水槽付消防ポンプ自動車(いすゞ U-FRR32DBV 改)を廃車する。 消防ポンプ自動車(三菱 KK-FE73ECY) A-2 級 1 台を購入し、一

平成 16 年 (2004)	色に配置する。 一色に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン FGY60 改 BD－I 型）を廃車する。 防災資機材搬送車（ニッサン LC－VPE25）1 台を購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の防災車（トヨタ U－LH119V 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 46 名 第 9 代消防長 石屋 博 就任 葉山町消防団 0B 会発足 第 21 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 29 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、基本泳法） 第 44 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 高規格救急自動車(ニッサン TC－FPGE50 改)1 台購入し、消防本部に配置する。 消防本部に配置の高規格救急自動車（トヨタ Z－UZH132S）をパラオ共和国に贈与する。 消防ポンプ自動車（日野 KK－FD1JEEA 改）A－2 級 1 台を購入し、木古庭に配置する。 木古庭に配置の消防ポンプ自動車(いすゞ U－FRR32DBV 改)を廃車する。 2 交替勤務から 3 交替勤務に移行する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 17 年 (2005)	第 22 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 30 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 消防ポンプ自動車（日野 PD－XZU304E 改）A－2 級 1 台を購入し、上山口に配置する。 上山口に配置の消防ポンプ自動車(ニッサン T－FGY60 改)を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 18 年 (2006)	第 23 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 31 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん第 2 位入賞） 第 45 回神奈川県消防操法大会に第 5 分団出場する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 19 年 (2007)	第 10 代消防長 坂本光俊 就任 積載車（ニッサン GBD—U72TP）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の積載車（三菱 V—U42V 改）を廃車する。 第 24 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 32 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） （出場種目 基本泳法 第 36 回消防救助技術関東地区指導会選出） 消防職員 定員 47 名 実員 46 名
平成 20 年 (2008)	第 25 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 33 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、基本泳法） 第 37 回消防救助技術関東地区指導会に出場する。 （出場種目 基本泳法） 第 46 回神奈川県消防操法大会に第 6 分団出場する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG—XZU304E）A—2 級 1 台を購入し、下山口に配置する。 下山口に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z—FGY60 改）を廃車する。 小型動力ポンプ積載車（スバル EBD—TT2）1 台を購入し、一色に配置する。 一色に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M—S80P 改）を廃車する。 下山口に防火水槽（40 m³）を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 21 年 (2009)	第 11 代消防長 有馬 弘 就任 第 11 代消防団長 石井定裕 就任 第 26 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 34 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、基本泳法） 消防緊急通信指令装置 I 型（富士通ゼネラル HA—3000D）を整備し、運用を開始する。 高規格救急自動車（トヨタ CBF—TRH226S）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車（トヨタ GE—VCH32S）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG—XZU304E）A2 級 1 台を購入し、長柄に配置する。

平成 22 年 (2010)	長柄に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名 第 27 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 35 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん） 第 47 回神奈川県消防操法大会に第 1 分団出場する。 消防無線更新。携帯 2 基 5W 水難救助艇（アキレス SG-140）1 台を購入し、消防署に配置する。 日本損害保険協会より小型動力ポンプ積載車（ダイハツ EBD-S331W）1 台の寄贈を受け、堀内に配置する。 堀内に配置の小型動力ポンプ積載車（ダイハツ M-S82P 改）を廃車する。 消防ポンプ自動車（日野 BDG-XZU304E）A-2 級 1 台を購入し、堀内に配置する。 堀内に配置の消防ポンプ自動車（ニッサン Z-FGY60 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 23 年 (2011)	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生に伴い、緊急消防援助隊として消火隊 2 隊を派遣する。（第 1 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区岡田地区、第 2 次派遣隊は宮城県仙台市宮城野区蒲生地区へ派遣） 機動車（ニッサン DBA-NT31）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の広報車（三菱 E-CD5W 改）を廃車する。 機構改革により総務部総務課に防災係を設置する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 24 年 (2012)	第 29 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 37 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ほふく救出） 第 48 回神奈川県消防操法大会に第 2 分団出場する。 （ポンプ車操法の部 第 3 位優秀賞） 救助工作車（日野 SDG-GX7JGAA 改）1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の救助工作車（ニッサンディーゼル KC-MK211EH 改）を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名

平成 25 年 (2013)	第 12 代消防長 小山正彦 就任 第 12 代消防団長 沼田慎一 就任 第 13 代消防長 高梨 勝 就任 第 30 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 第 38 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出) 資機材搬送車 (いすゞ TDG-NMS85AN) 1 台を購入し、消防署に配置する。 総務省消防庁より小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ EBD-S331W) 1 台の無償貸与を受け、上山口に配置する。 上山口に配置の小型動力ポンプ積載車 (ダイハツ M-S82P 改) を廃車する。 消防職員 定員 47 名 実員 47 名
平成 26 年 (2014)	第 31 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 39 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ほふく救出、ロープブリッジ救出) 第 49 回神奈川県消防操法大会に第 3 分団出場する。 高規格救急自動車 (トヨタ CBF-TRH226S) 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の高規格救急自動車 (ニッサン TC-FPGE50 改) を廃車する。 横須賀市三浦市葉山町 2 市 1 町による消防通信指令事務の共同運用に向けた「横須賀市・三浦市・葉山町消防通信指令事務協議会」設置。(横須賀市・三浦市消防指令センターは平成 25 年 4 月より運用開始。) 消防職員 定員 48 名 実員 48 名
平成 27 年 (2015)	横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター運用開始。 消防救急デジタル無線 (活動波・統制波・主運用波) 運用開始。 予防係を予防課へ変更する。 第 32 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) 第 40 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 (出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過) C A F S 付消防ポンプ自動車 (モリタ TKG-XZU640M) A-2 級 1 台を購入し、消防署に配置する。 消防署に配置の消防ポンプ自動車 (日野 KK-FD1JEEA 改) A-2 級を廃車する。 一色、長柄に消火栓 1 基、堀内に防火水槽 (40 m³) 1 基を設置す

平成 28 年 (2016)	る。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-21BS 型）C-1 級 3 台を購入し木古庭、一色、長柄に配置する。 木古庭に配置の小型動力ポンプ（富士ロビン P380）C-1 級を廃棄する。 一色に配置の小型動力ポンプ（トーハツ T66B4）C-1 級を廃棄する。 長柄に配置の小型動力ポンプ（ラビット P303BS）C-1 級を廃棄する。 消防職員 定員 49 名 実員 49 名 第 14 代消防長 福本昌己 就任 第 33 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん） 第 41 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ渡過） 第 50 回神奈川県消防操法大会に第 4 分団出場する。 下山口に消火栓 2 基、長柄に消火栓 2 基を設置する。 小型動力ポンプ（トーハツ VF-21BS 型）C-1 級 1 台を購入し消防署に配置する。 消防署に配置の小型動力ポンプ（ラビット P475S-DX・V）B-3 級を廃棄する。 小型動力ポンプ積載車（ニッサン EBD-DR16T）1 台を購入し、下山口に配置する。 消防職員 定員 52 名 実員 49 名
平成 29 年 (2017)	長柄の詰所を移転新築する。（鉄骨 1 階建、延べ面積 122.42 m²） 第 34 回三浦半島地区消防救助技術交換会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープブリッジ渡過、ロープ応用登はん、ほふく救出） 第 42 回神奈川県下消防救助技術指導会に出場する。 （出場種目 はしご登はん、ロープブリッジ救出、ロープ応用登はん、ほふく救出） 消防職員 定員 52 名 実員 52 名

町

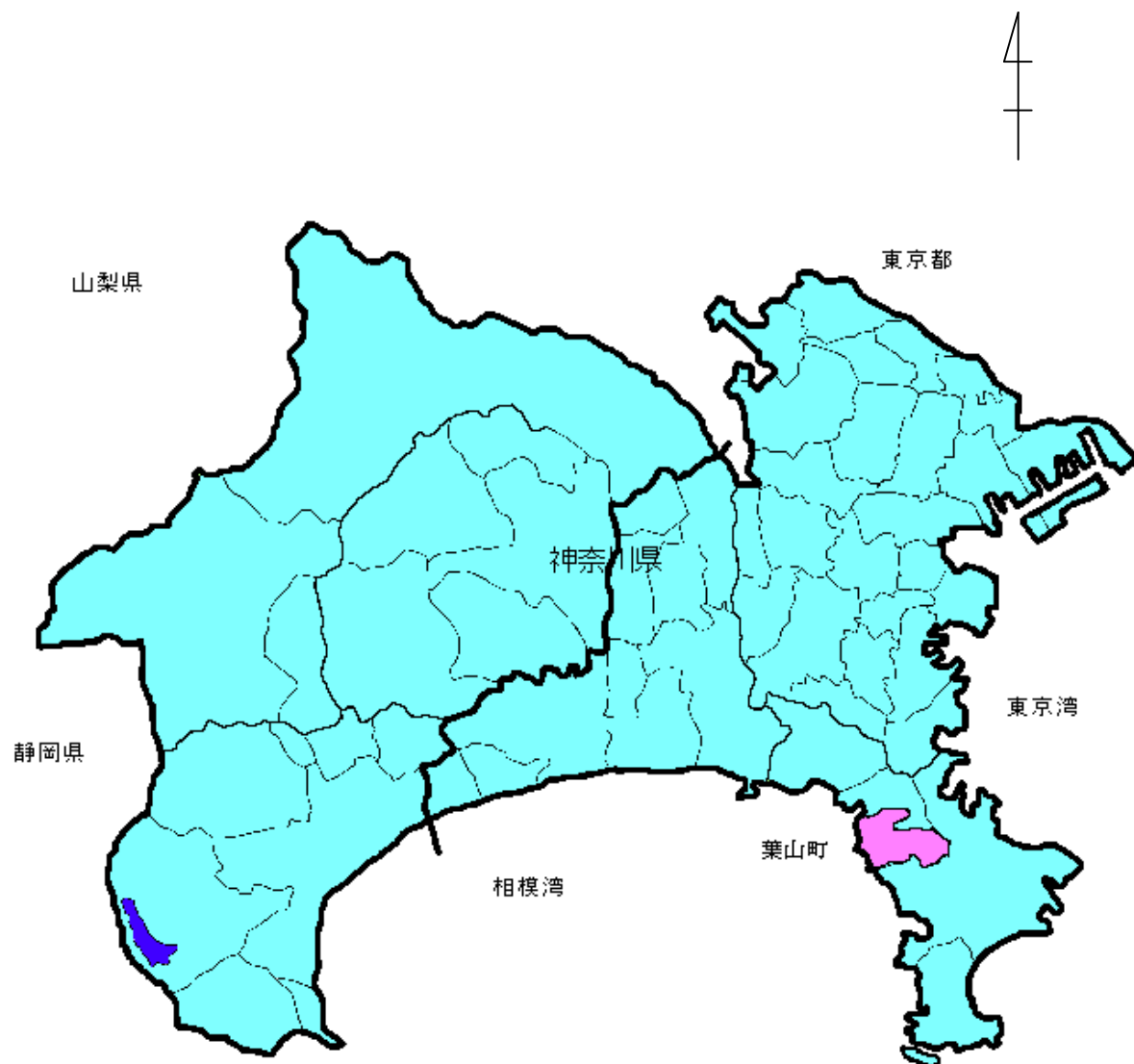
勢



葉山町役場

位 置

葉山町は、三浦半島の西北部に位置し、西は相模湾に面し、北は逗子市、東と南は横須賀市に接しており、首都東京から 50 km 圏にある。



葉山町役場の所在地	神奈川県三浦郡葉山町堀内 2135 番地
位 置	北緯 35° 16' 08" 東経 139° 35' 24"
町 制 施 行	大正 14 年 1 月 1 日

面積・人口・世帯数

平成29.4.1現在

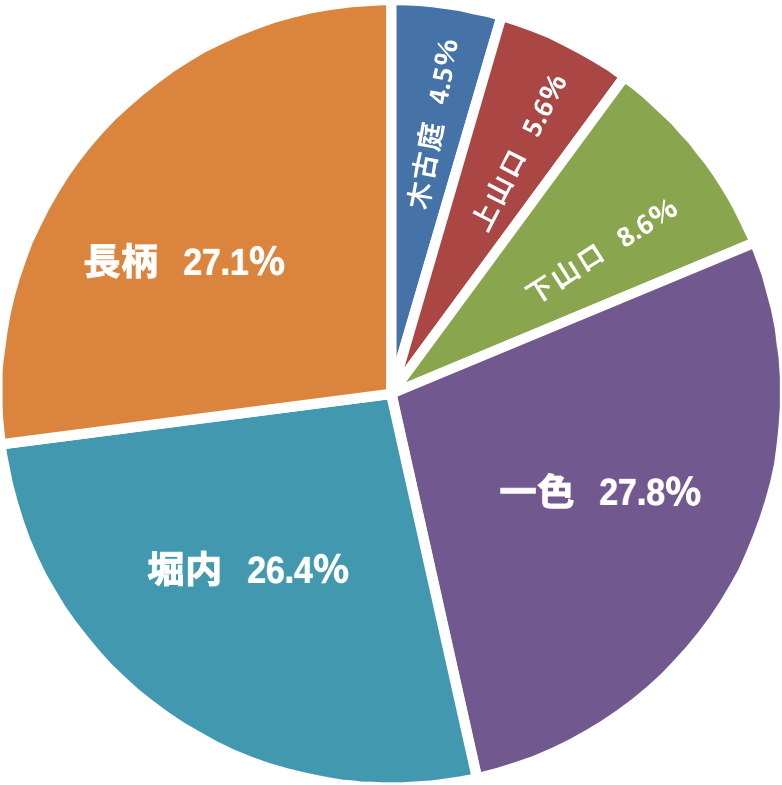
面積	人口			世帯数
17.04km ²	33,377人	男	15,831人	14,337世帯
		女	17,546人	

地区別情勢

平成29.4.1現在

区分 地区		人口			世帯数
		男	女	合計	(世帯)
		(人)	(人)	(人)	
木	古庭	728	781	1,509	665
上	山口	901	956	1,857	825
下	山口	1,401	1,484	2,885	1,230
一	色	4,347	4,923	9,270	3,926
堀	内	4,177	4,649	8,826	3,844
長	柄	4,277	4,753	9,030	3,847
合	計	15,831	17,546	33,377	14,337

人口

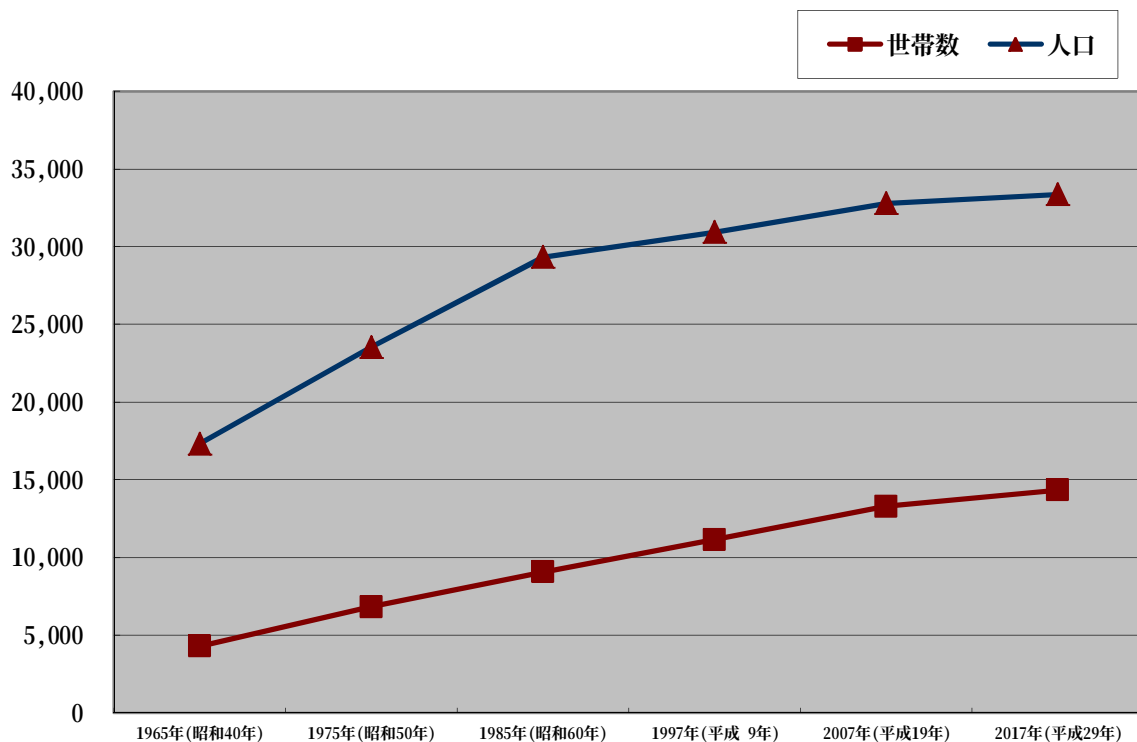


人口の推移

平成29.4.1現在

区分 年	世帯数 (世帯)	人口			1km ² あたり	
		男 (人)	女 (人)	合計 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)
1965年(昭和40年)	4,293	8,279	9,033	17,312	249	1,005
1975年(昭和50年)	6,821	11,413	12,107	23,520	400	1,378
1985年(昭和60年)	9,066	14,199	15,125	29,324	541	1,737
1997年(平成9年)	11,146	14,831	16,109	30,940	654	1,816
2007年(平成19年)	13,278	15,619	17,182	32,801	778	1,923
2017年(平成29年)	14,337	15,831	17,546	33,377	841	1,959

世帯数・人口



消 防 情 勢



葉山町消防本部庁舎

消防本部・署・団設置

消防本部設置 昭和 43 年 3 月 29 日

消防署設置 昭和 45 年 4 月 1 日

消防団設置 昭和 22 年 7 月 19 日

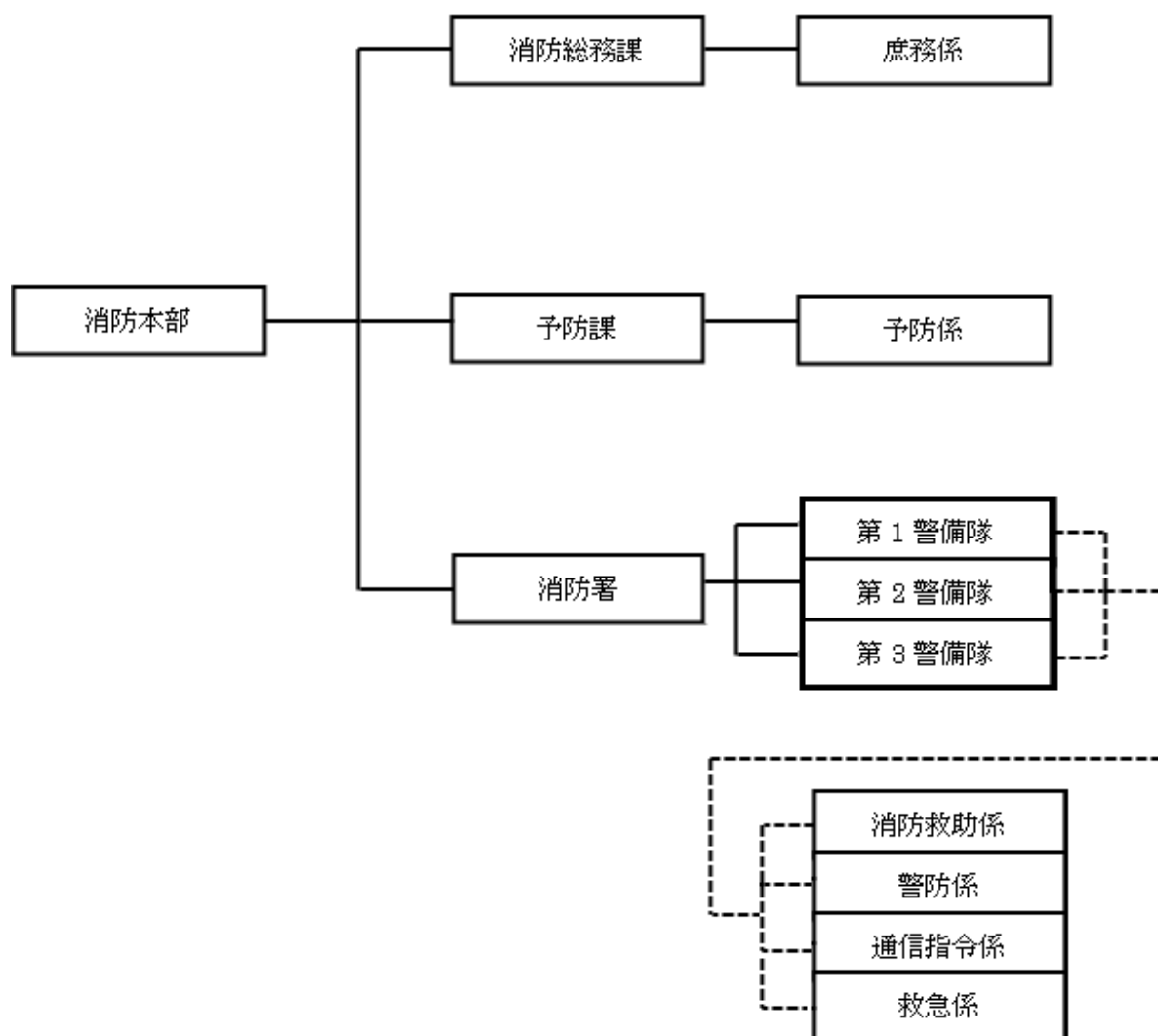
消防本部・署の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10

位 置 北緯 35 ° 16 ' 05 " 東経 139 ° 35 ' 17 "

消防団本部の所在地 神奈川県三浦郡葉山町堀内 2050 番地 10

位 置 北緯 35 ° 16 ' 05 " 東経 139 ° 35 ' 17 "

消防本部・署機構図



消防本部事務分掌

消防総務課

庶務係

- (1) 消防事務の企画、調査、調整及び庶務に関すること。
- (2) 消防組織に関すること。
- (3) 条例及び規則の原案の調整並びに規程の制定又は改廃に関すること。
- (4) 職員の任免、賞罰、服務その他身分に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 職員の研修及び福利厚生に関すること。
- (7) 公印の管理に関すること。
- (8) 消防長の儀礼交際に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 公務災害補償等に関すること。
- (11) 消防出初式に関すること。
- (12) 消防の総括統計に関すること。
- (13) 消防団員の任免、服務、身分等に関すること。
- (14) 消防団本部の庶務に関すること。
- (15) 消防団員の訓練の企画及び調整に関すること。
- (16) 消防予算の執行管理の総括に関すること。
- (17) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (18) 被服等の貸与並びに物品の出納及び管理に関すること。
- (19) 消防署との連絡調整に関すること。
- (20) 消防長の庶務及び部内の連絡調整に関すること。

予防課

予防係

- (1) 火災予防思想の普及及び調整に関すること。
- (2) 火災予防等の規定及び調整に関すること。
- (3) 建築確認及び許認可に係る同意に関すること。
- (4) 防火管理者講習に係る総合調整に関すること。
- (5) 防火対象物及び消防用設備の指導に係る調整に関すること。
- (6) 火災予防協力組織及び団体の育成指導に関すること。
- (7) 消防対象物の立入検査等の総括に関すること。
- (8) 葉山町火災予防条例（昭和 37 年葉山町条例第 8 号）に基づく届出及び指導（消防署で扱うものを除く。）に関すること。
- (9) 危険物の取締指導及び規制に関すること。
- (10) 液化石油ガス等に関すること。
- (11) 危険物取扱者に関すること。
- (12) 危険物手数料の収納に関すること。

- (1 3) 火災予防の統括に関すること。
- (1 4) 開発行為等の指導に関すること。
- (1 5) 火災の原因及び損害調査に関すること。

消防署事務分掌

消防署

消防救助係

- (1) 火災に係るり災証明に関すること。
- (2) 安全管理に関すること。
- (3) 訓練の計画、調整及び運用に関すること。
- (4) 消防団員、事業所等の消防訓練指導等に関すること。
- (5) 署の広報に関すること。
- (6) 緊急消防援助隊に関すること。
- (7) 消防本部との調整に関すること。
- (8) 署の予算に関すること。
- (9) 各種催事に係る警備に関すること。
- (1 0) 火災予防立入検査に関すること。
- (1 1) 屋外の火災予防の調査及び指導に関すること。
- (1 2) 葉山町火災予防条例（昭和 37 年葉山町条例第 8 号）第 45 条（第 3 号及び第 6 号を除く）及び第 45 条の 2 に規定する届出及び指導に関すること。
- (1 3) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (1 4) 消防施設の整備及び管理に関すること。
- (1 5) 街頭消火器の整備及び維持管理に関すること。

警防係

- (1) 消防車両、装備、資機材の配置及び整備並びに維持管理に関すること。
- (2) 消防地図及び水利の調査に関すること。
- (3) 消防力整備計画に関すること。
- (4) 消防対象物の警防計画に関すること。
- (5) 消防相互応援協定等に関すること。
- (6) 消防警防計画に関すること。
- (7) 消防水利の確保、維持管理に関すること。
- (8) 消防車両の通行制限等の許認可申請に関すること。
- (9) 開発行為等の指導に関すること。

通信指令係

- (1) 消防現勢及び消防年報に関すること。
- (2) 消防に係る気象観測に関すること。
- (3) 災害通報の受信及び指令に関すること。

- (4) 災害活動機関との連絡及び情報収集に関すること。
- (5) 警防支援情報等の収集、管理及び保護に関すること。
- (6) 消防通信施設の保守管理に関すること。
- (7) 消防通信の技術指導及び訓練に関すること。
- (8) 災害現場の調査及び情報の収集に関すること。
- (9) 火災警報等に関すること。
- (10) 消防の総括統計に関すること。
- (11) 指令業務の共同運用に関すること。

救急係

- (1) 救急業務の企画及び整備に関すること。
- (2) 応急手当の普及等に関すること。
- (3) 救急資機材の整備に関すること。
- (4) 搬送証明に関すること。
- (5) 救急統計に関すること。

消防本部・署・団情勢調

人口 33,377 人

世帯数 14,337 世帯

面積 17.04 Km²

平成29.4.1現在

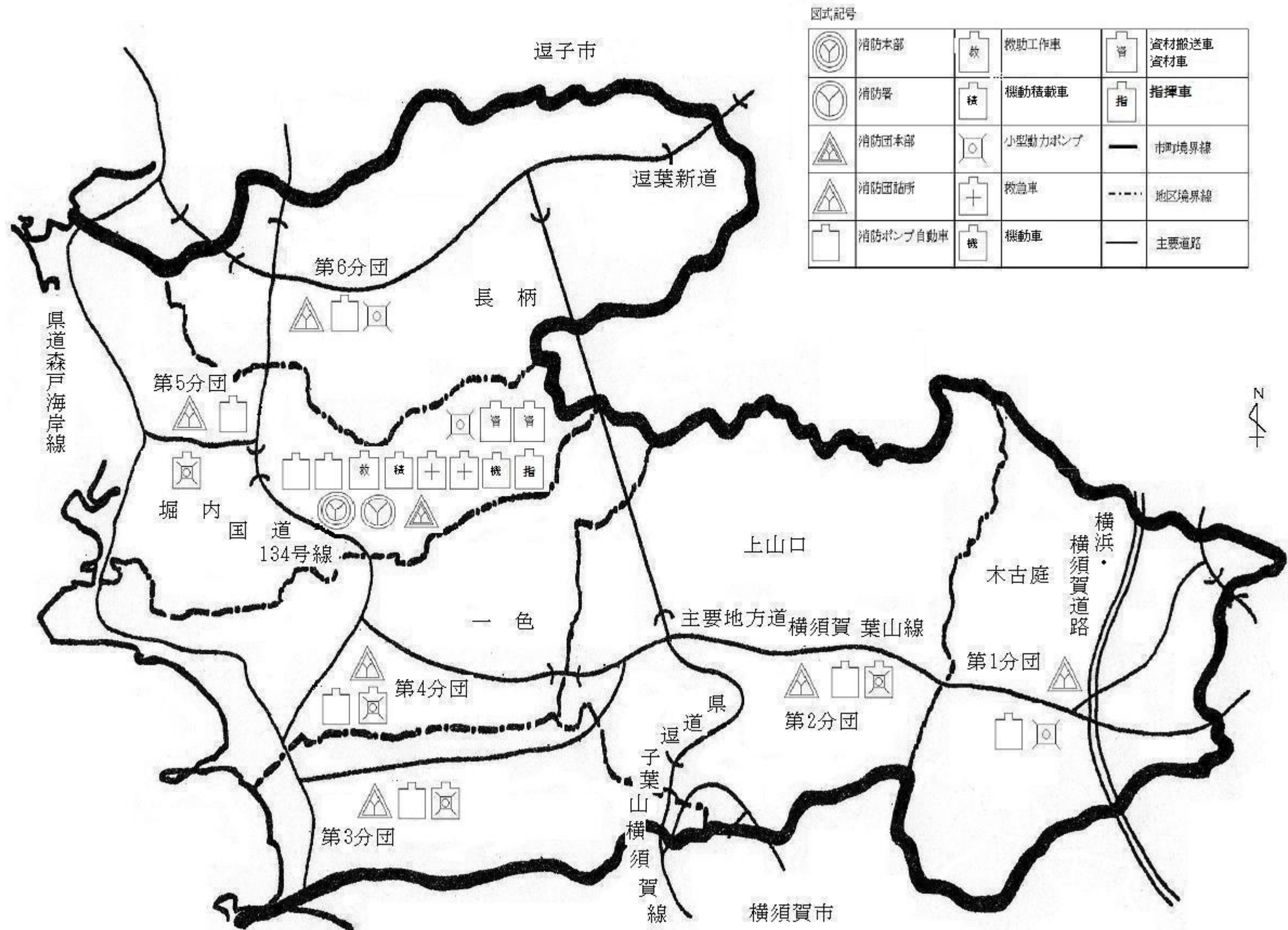
種別 区分	消 防 本 部 ・ 署						消 防 団					
	消 防 吏 員			消防ポンプ自動車			消 防 団 員			消防ポンプ自動車		
現 況	50人			2台			169人			6台		
細 別	消防吏員1人あたり			消防車1台あたり			消防団員1人あたり			消防車1台あたり		
区 分	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
平 均 値	0.3	668	287	8.5	16,689	7,169	0.1	198	85	2.8	5,563	2,390

消防本部・署・団・車両一覧表

平成29.4.1現在

種別 車両	消 防 本 部 ・ 署	消 防 団	合 計
消 防 ポ ン プ 自 動 車	2台	6台	8台
救 助 工 作 車	1台		1台
機 動 積 載 車	1台	4台	5台
小 型 動 力 ポ ン プ	1台	6台	7台
高 規 格 救 急 自 動 車	2台		2台
機 動 車	1台		1台
指 揮 車	1台		1台
資 材 搬 送 車	2台		2台
二 輪 車	2台		2台

消防機器配置図



庶務関係



平成29年葉山町消防出初式

消 防 予 算 額

平成29年度

款	項	目	金額（千円）	比率（％）
消 防 費	消 防 費	常 備 消 防 費	474,105	85.6%
		非 常 備 消 防 費	29,206	5.3%
		消 防 施 設 費	50,261	9.1%
		合 計	553,572	100%

町 予 算 と 消 防 予 算 の 比

（単位：千円）

区 分	年 度	平 成 29 年 度	平 成 28 年 度	平 成 27 年 度
町 総 予 算 額		9,485,900	9,339,000	9,289,500
消 防 予 算 額		553,572	607,240	623,400
比 率 （ ٪ ）		5.8	6.5	6.7

消 防 費 と 人 口 ・ 世 帯 の 比

人 口 33,377人

世帯数 14,337世帯

平成29年度

予算額（千円）		1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
消 防 費 予 算	553,572	38,611	16,585
常 備 消 防 費	474,105	33,069	14,205
非 常 備 消 防 費	29,206	2,037	875
消 防 施 設 費	50,261	3,506	1,506
町 総 予 算	9,485,900	661,638	284,205

消防職員定員・実員

平成29.4.1現在

階 級 区 分	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
定 員								52
実 員	1	8	9	5	19	10	2	54
再 任 用 者								0

消 防 職 員 年 齢

平成29.4.1現在

階 級 年 齢	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
18 ～ 20						4		4
21 ～ 25					3	4		7
26 ～ 30					16	2		18
31 ～ 35				2				2
36 ～ 40				3			1	4
41 ～ 45			6					6
46 ～ 50		5	3					8
51 ～ 55		2						2
56 ～ 60	1	1					1	3
60 歳 以 上								0
合 計	1	8	9	5	19	10	2	54
平 均 年 齢	59	52	45	35	28	22	47	35

消防職員勤続年数

平成29.4.1現在

階 級 勤続年数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
1 年 未 満						6		6
1 年 以 上 5 年 未 満					3	4		7
5 年 以 上 10 年 未 満					13			13
10 年 以 上 15 年 未 満				3	3		1	7
15 年 以 上 20 年 未 満				2				2
20 年 以 上 25 年 未 満			5					5
25 年 以 上 30 年 未 満		2	4					6
30 年 以 上 35 年 未 満		4					1	5
35 年 以 上 40 年 未 満	1	2						3
40 年 以 上								0
合 計	1	8	9	5	19	10	2	54

教育実施状況

平成28年度

教育種別	期間 H27年	人員	教育場所
初任教育 第212期	H28/4/6 ~ 9/30	2	神奈川県消防学校
特別教育 操法指導員研修（ポンプ車）	H28.4.20	3	神奈川県消防学校
専科教育 救助科	H28/10/17 ~ 11/14	1	神奈川県消防学校
専科教育 警防科	H28/10/17 ~ 10/28	1	神奈川県消防学校
専科教育 救急科（第2回）	H28/10/17 ~ 12/27	2	神奈川県消防学校
専科教育 火災調査科	H29/1/16 ~ 1/27	1	神奈川県消防学校
特別教育 救急救命士	H29.2.10	1	神奈川県消防学校
専科教育 予防査察科	H29/2/13 ~ 2/24	1	神奈川県消防学校
特別教育 特別救助隊	H29/2/20 ~ 2/24	1	神奈川県消防学校
総合教育 幹部科	H28/6/14 ~ 7/29	1	消防大学校

特殊技能資格者

平成29.4.1現在

資 格 \ 階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員	合 計
自 動 車 運 転	大 型 特 殊			1					1
	大 型		1	3	1	5		1	11
	中 型	1		2	4	10			17
	8t 限 定		7	3				1	11
	普 通					4	5		9
危 険 物	乙 種 4 類		2	8	5	19	3		37
	丙 種	1	6	2	1				10
消 防 設 備	点 検 資 格 第 1 種		1	2	2				5
点 検 資 格 者	点 検 資 格 第 2 種		1	3	2				6
可 搬 消 防 ポ ン プ 等 整 備 資 格 者			1	1					2
第 1、2、3 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士		1	9	9	5	19	2		45
ガ ス 溶 接 技 能 者			6	5			1		12
小 型 ク レ ー ン 技 能 者				4	3	11			18
玉 掛 技 能 者				4	3	11			18
1 級 小 型 船 舶 操 縦 士			1	1					2
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士		1	3	4	3	2		1	14
2 級 ガ ソ リ ン 自 動 車 整 備 士			1						1
3 級 自 動 車 ガ ソ リ ン エ ン ジ ン 整 備 士			1						1
3 級 自 動 車 シ ャ シ 整 備 士			1						1
3 級 自 動 車 ジ ー ゼ ル エ ン ジ ン 整 備 士			1						1
第 二 種 酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者				1	1	1			3
特 定 化 学 物 質 等 作 業 主 任 者				1					1
毒 物 劇 物 取 扱 責 任 者						1			1
応 急 手 当 指 導 員		1	8	9	5	19			42
救 急 救 命 士			2	7		3	2		14
ア マ チ ュ ア 無 線 技 士			2	2					4

警 防 関 係



平成28年12月 葉山町・横須賀市合同消防訓練

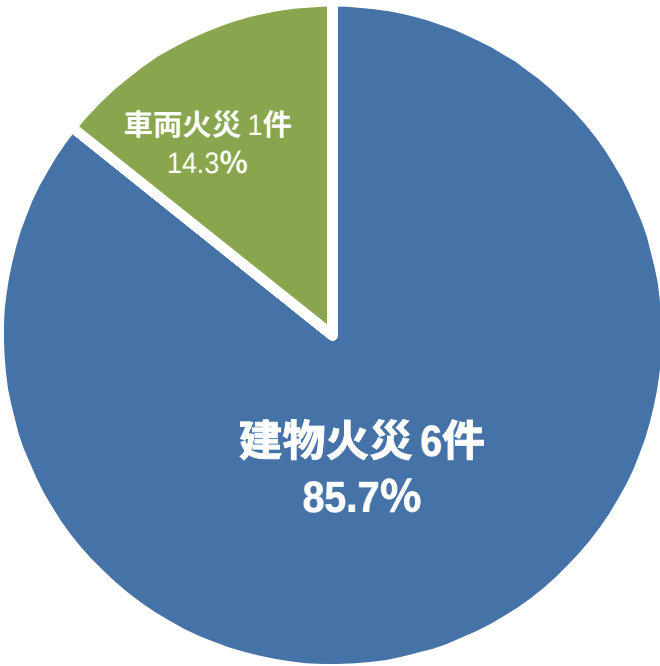
火災概況

平成28年中

火 災 件 数		7件	
火 災 種 別	建 物 火 災	6件	内訳(全焼2件・部分焼1件・ぼや3件)
	林 野 火 災		
	車 両 火 災	1件	
	船 舶 火 災		
	航 空 機 火 災		
	その他の火災		
焼 損 面 積		460.00㎡	
損 害 見 積 額		67,833千円	
罹 災 世 帯 数		12世帯	
死 傷 者 数		3人	内訳（死者2人・負傷者1人）

火災別比較

平成28年中



出火原因別火災発生状況

平成28年中

区分 件数	火災種別	出火原因		
		発火源	経過	着火物
1	車両火災	排気管	引火する	第四石油類
2	建物火災	不明	不明	不明
3	建物火災	不明	不明	不明
4	建物火災	配電線（高圧）	その他 （漏洩放電する）	電線被類
5	建物火災	引込線（低圧）	絶縁劣化による発熱	電線被類
6	建物火災	不明	不明	不明
7	建物火災	不明	放火の疑い	袋及び紙製品

火災発生状況

平成28年中

区分 月	火災種別						死傷者		建物火災																林野 焼損面積	その他 焼損面積	損害見積額						
	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他の火災	合計	死者	負傷者	焼損棟数								罹災世帯数			罹災人員	焼損面積					建物		車両	その他	合計		
										火元棟				延焼数				全損	半損	小損		全焼	半焼	部分焼								ぼや	合計
										全焼	半焼	部分焼	ぼや	全焼	半焼	部分焼	ぼや																
																											建物	収容物					
1																																	
2			1				1																							476		476	
3	2						2		1	1			1	1	1	3		4		5	22	248	34	9	1	292			33,202	4,817		38,019	
4																																	
5																																	
6																																	
7	1						1					1																					
8	1						1					1							1	9													
9																																	
10	2						2	2		1		1		1			2			6	137	29	2		168			26,668	2,670		29,338		
11																																	
12																																	
合計 (単位)	6 件		1 件				7 件	2 人	1 人	2 棟		1 棟	3 棟	1 棟	2 棟	3 棟		6 世帯		6 世帯	37 人	385 ㎡	63 ㎡	11 ㎡	1 ㎡	460 ㎡			59,870 千円	7,487 千円	476 千円		67,833 千円

																											出火率 (件)								
過去5年	平成 23 年	5	2	1			1	9	1	1	1	1	1	2				1			2	230	48	4	1	283	1.4	24	41,618	6,257			47,875	2.7	
	平成 24 年	3					1	4			1	1		1	1			1		1	2	225	32			257			3,709	28,802			32,511	1.2	
	平成 25 年	3					3	6		1		2	1	1					1		2		65.96	9.13		75.09		27.59	6,593				6,593	1.8	
	平成 26 年	6					4	10	1	3	1		1	4			1	5	1		12	31	114		30	1.2	145.2		334.7	19,756				19,756	2.9
	平成 27 年	5			1		1	7		2	2			3			4	2	2		17	40	236.07		101.354	0.5262	337.95		0.105	29,540	8,779		312	38,631	2.1

火災覚知方法時間別状況

平成28年中

時間	覚知		一一九番	加入電話	事後聞知	かけつけ	巡回中発見	その他	合計
0	～	1							
1	～	2	1						1
2	～	3	1						1
3	～	4							
4	～	5							
5	～	6							
6	～	7							
7	～	8							
8	～	9							
9	～	10	1						1
10	～	11			1				1
11	～	12							
12	～	13							
13	～	14			1				1
14	～	15							
15	～	16			1				1
16	～	17							
17	～	18	1						1
18	～	19							
19	～	20							
20	～	21							
21	～	22							
22	～	23							
23	～	24							
合計			4		3				7

地区別火災発生状況

平成28年中

地区 区分		単 位	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
出火件数		件	3			2	1	1	7
内 訳	建物	件	2			2	1	1	6
	林野	件							
	車両	件	1						1
	船舶	件							
	航空機	件							
	その他	件							
焼損棟数		棟	7			3	1	1	12
内 訳	全焼	棟	2			1			3
	半焼	棟	1			1			2
	部分焼	棟	3			1			4
	ぼや	棟	1				1	1	3
建物焼損面積		m ²	292			168			460
林野焼損面積		a							
その他焼損面積		m ²							
罹災世帯数		世帯	9			2		1	12
内 訳	全損	世帯	4			2			6
	半損	世帯							
	小損	世帯	5					1	6
罹災人員		人	22			6		9	37
火災損害額		千円	38,495			29,338			67,833
内 訳	建物	千円	38,019			29,338			67,357
	林野	千円							
	車両	千円	476						476
	船舶	千円							
	航空機	千円							
	その他	千円							

時間別火災発生状況

平成28年中

区分 時間	建 物				合 計	建 以 外 の 火 災 物 災	建 面 物 焼 損 積 (㎡)	林 面 野 焼 損 積 (a)	そ 焼 損 の 面 他 積 (㎡)	損 見 積 害 額 (千円)
	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や						
0 ~ 1										
1 ~ 2	1	1			2		166			28,827
2 ~ 3	2	1	3		6		291			37,942
3 ~ 4										
4 ~ 5										
5 ~ 6										
6 ~ 7										
7 ~ 8			1		1		2			511
8 ~ 9										
9 ~ 10						1				476
10 ~ 11										
11 ~ 12										
12 ~ 13										
13 ~ 14										
14 ~ 15										
15 ~ 16				1	1					
16 ~ 17										
17 ~ 18				1	1					
18 ~ 19										
19 ~ 20										
20 ~ 21										
21 ~ 22										
22 ~ 23										
23 ~ 24										
不 明				1	1		1			77
合 計	3	2	4	3	12	1	460			67,833

消防署の消防車両等の出場状況

平成28年中

月 出場		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合 計
火災	件 数		1	1	1		1		1		1			6
	出 場 台 数		2	6	5		4		5		5			27
	出 場 人 員		5	19	16		10		16		16			82
救助	件 数	1	2	2	2	3	3	4	4	3	3	3		30
	出 場 台 数	5	7	13	8	10	10	16	23	19	20	10		141
	出 場 人 員	13	16	56	20	24	24	39	91	45	80	26		434
危険排除	件 数				1	2	2	1		1		2	1	10
	出 場 台 数				2	4	4	2		2		7	2	23
	出 場 人 員				4	8	8	5		4		20	6	55
偵察	件 数			1		1	1	2	3		3		3	14
	出 場 台 数			2		1	2	4	7		7		5	28
	出 場 人 員			5		2	5	9	20		19		14	74
調査	件 数			1	1		1	1	7	2	1			14
	出 場 台 数			3	2		1	0	11	4	2			23
	出 場 人 員			8	4		2	3	26	8	5			56
P A 連 携	件 数	5	6	5	8	4	3	8	10	7	6	7	5	74
	出 場 台 数	10	13	7	16	7	5	14	20	13	11	14	10	140
	出 場 人 員	25	33	16	40	18	12	34	51	32	27	35	25	348
合計	件 数	6	9	10	13	10	11	16	25	13	14	12	9	148
	出 場 台 数	15	22	31	33	22	26	36	66	38	45	31	17	382
	出 場 人 員	38	54	104	84	52	61	90	204	89	147	81	45	1,049

消防署出場件数前年比較（27年中・28年中）

1 火災出場

種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	管外火災	合 計
平成27年中	7	0	0	3	0	10
平成28年中	5	1	0	0	0	6
比 較	△ 2	1	0	△ 3	0	△ 4

火災件数

種別 区分	建物火災	車両火災	林野火災	その他火災	合 計
平成27年中	5	0	0	2	7
平成28年中	6	1	0	0	7
比 較	1	1	0	△ 2	0

2 救助出場

種別 区分	火 災	交通事故	水難事故	建物等による事故	そ の 他	合 計
平成27年中	3	1	1	4	8	17
平成28年中	3	4	7	7	9	30
比 較	0	3	6	3	1	13

3 その他出場

種別 区分	危険排除	偵 察	その他	合 計
平成27年中	7	26	0	33
平成28年中	10	14	0	24
比 較	3	△ 12	0	△ 9

4 救急支援出場

種別 区分	特定	救命	多数	合計
平成27年中	38	82	0	120
平成28年中	23	51	0	74
比 較	△ 15	△ 31	0	△ 46

救急支援（特定）内訳

谷戸高台	1	隊員保護	0	救急隊遅延	葉山対応	5
中高層	1	繁華街	0		逗子対応	9
交通	1	署所直近	0		横須賀対応	1
自動車専用道路	0	その他	5		合計	23

5 調査出場

種別 区分	火災（後聞）	建物被害	がけ崩れ被害	ブロック塀被害	その他（調査）	合 計
平成27年中	1	1	1	1	5	9
平成28年中	3	0	2	0	9	14
比 較	2	△ 1	1	△ 1	4	5

6 救急出場（事故種別）件数

種別 区分	急病	一般 負傷	交通 事故	移送	自損 行為	加害	運動 競技	労災 事故	火災 事故	自然 災害	水難 事故	医師 搬送	資材 搬送	その 他	合 計
平成27年中	1141	320	89	46	8	2	5	10	6	0	6	0	0	7	1640
平成28年中	1057	312	102	47	3	8	8	19	8	1	10	0	0	10	1585
比 較	△ 84	△ 8	13	1	△ 5	6	3	9	2	1	4	0	0	3	△ 55

7 救急隊別出場件数

種別 区分	第1救急隊	第2救急隊	その他車両	合 計
平成27年中	1340	300	0	1640
パーセント	81.7%	18.3%		
平成28年中	1300	285	0	1585
パーセント	82.0%	18.0%		
比 較	△ 40	△ 15	0	△ 55

8 応援状況

(1) 火災救助等受援件数

市 区分	逗子市から葉山町			横須賀市から葉山町			横浜市から葉山町		
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他
平成27年中	2	1	0	0	0	0	0	1	0
平成28年中	0	1	0	3	0	0	0	1	0
比 較	△ 2	0	0	3	0	0	0	0	0

(2) 火災救助等応援件数

市 区分	葉山町から逗子市			葉山町から横須賀市			葉山町から横浜市		
	火災	救助	その他	火災	救助	その他	火災	救助	その他
平成27年中	0	3	0	0	0	0	0	0	0
平成28年中	0	1	0	0	0	0	0	0	0
比 較	0	△ 2	0	0	0	0	0	0	0

(3) 救急受援件数

市 区分	逗子市から葉山町	横須賀市から葉山町	ドクターヘリ
平成27年中	14	27	0
平成28年中	14	26	0
比 較	0	△ 1	0

(4) 救急応援件数

市 区分	葉山町から逗子市	葉山町から横須賀市
平成27年中	20	0
平成28年中	7	0
比 較	△ 13	0

平成28年中 出場件数

火 災 出 場	火 災 種 別				出場件数	合 計			
	建 物 火 災				5	6			
	建 車 両 火 災				1				
	林 野 火 災				0				
	そ の 他 火 災				0				
応援火災出場		火 災 種 別				出場件数	合 計		
						0	0		
救 助 出 場	事 故 種 別				出場件数	活動件数	合 計		
							出場	活動	
	火 災				3	2	30	21	
	交 通 事 故				4	4			
	水 難 事 故				7	1			
	風水害等自然災害事故				0	0			
	機 械 に よ る 事 故				0	0			
	建 物 等 に よ る 事 故				7	7			
	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故				0	0			
	破 裂 事 故				0	0			
そ の 他				9	7				
そ の 他 出 場	その他分類				出場件数	合 計			
	危険排除	危 険 物				6	10		
		火 気 取 扱				0			
		風 害				3			
		水 害				0			
		山 崩 れ				0			
		ガ ス				0			
		電 気				0			
		その他（危険排除）				1			
	放射性物質等				0	0			
	毒・劇物（B・C災害）				0	0			
	警戒	危 険 物 施 設 等				0	0		
		核 燃 料 物 質 等				0			
		ド ク タ ー ヘ リ				0			
そ の 他 （ 警 戒 ）				0					
偵 察	怪 煙				2	14			
	焚 火				1				
	異 臭				1				
	自 火 報 発 報				3				
	緊 急 通 報				1				
	そ の 他 （ 偵 察 ）				6				
救急支援出場		出 場 種 別				出場件数	合 計		
		特 定				23	74		
		救 命				51			
		多 数				0			
調 査 出 場	調 査 種 別				出場件数	合 計			
	火 災 （ 後 聞 ）				3	14			
	建 物 被 害				0				
	崖 崩 れ 被 害				2				
	ブ ロ ッ ク 塀 被 害				0				
	そ の 他 （ 調 査 ）				9				

山中救助概要

発生年	25年	26年	27年	28年	合計
発生件数	2	8	4	6	20
うち ヘリ救助件数			1	1	2
日中件数		4	3	4	11
夜間件数	2	4	1	2	9
救助人員	2	11	6	6	25
救急搬送者数			1	2	3

年別 所要時間 (覚知～ 救出完了) 件数

所要時間 \ 発生年	25年	26年	27年	28年	合 計
～ 30分					
30分 ～ 1時間		4		2	6
1時間 ～ 1時間30分		1		1	2
1時間30分 ～ 2時間		1	2		3
2時間 ～ 2時間30分			1		1
2時間30分 ～ 3時間	1			1	2
3時間 ～ 3時間30分		1		1	2
3時間30分 ～ 4時間	1			1	2
4時間 ～ 4時間30分					
4時間30分 ～ 5時間					
5時間 ～ 5時間30分			1		1
5時間30分 ～ 6時間					
6時間 ～ 6時間30分					
8時間 ～ 8時間30分		1			1
合 計	2	8	4	6	20

消防本部・署現有車両機械

平成29. 4. 1現在

用途	車両 会社名	登録 年月日	原動機ポンプ					無線 呼出名称
			エンジン 社名	気筒容積 (CC)	ポンプ 社名	ポンプ 型式	ポンプ 級別	
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成27年 12月7日	日野	4,000	モリタ	1段 ポリユート式 ポンプ	A-2	はやましき ぼんぷ1
消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	平成13年 11月19日	日野	4,890	畠山 ポンプ	2段 バランス タービン	A-2	はやま ぼんぷ2
救 助 工 作 車	日野	平成25年 2月4日	日野	6,400				はやま きゅうじょ1
機 動 積 載 車	ニッサン	平成19年 8月29日	ニッサン	650				はやま きどう1
救 急 自 動 車	トヨタ	平成21年 9月15日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま1
救 急 自 動 車	トヨタ	平成26年 11月26日	トヨタ	2,690				きゅう きゅう はやま2
機 動 車	ニッサン	平成23年 6月15日	ニッサン	1,990				はやま きどう2
指 揮 車	ニッサン	平成15年 7月28日	ニッサン	1,990				はやま しき1
資 機 材 搬 送 車	いすゞ	平成25年 8月21日	いすゞ	2,990				はやま しざい1
資 材 車	ニッサン	平成26年 7月30日	ニッサン	650				はやま しざい2
二 輪 車	ホンダ	平成5年 9月9日	ホンダ	90				
二 輪 車	ホンダ	平成9年 7月28日	ホンダ	50				
小 型 動 力 ポ ン プ		平成28年 3月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1	

警防用機器資材

平成29. 4. 1現在

用途	一般救助用								重量物排除用			
名 称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サーバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	油圧救助器具 (スプレッダー)	救助用油圧ジャッキ
数量	3	3	2	1	1	8	2	3			4	2

用途	重量物排除用			切断用								
名 称	可搬式ウインチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具(カッター)	エアソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄筋カッター		
数量	6	1	3	2	2	3	1		4	9		

用途	測定用					破壊用		呼吸保護用				
名 称	複合ガス濃度測定器含む (酸素濃度検知器)	放射能測定器 (ポケット含む)	有毒ガス測定器	マルチガスモニター ポッケッタブル	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数量	3	26	1			1	2	19			6	

用途	隊員保護用											
名 称	送排風機一式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服 (簡易防護服含む)	防毒衣		
数量	1	15	2	2	2		5	2	36			

用途	水難救助用				画像探索機				その他			
名 称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープⅢ型	画像探索機Ⅱ型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアートtent	画像伝送装置一式
数量		42	1	1	1			1			1	

消防水利現勢

平成29. 4. 1 現在

地区 種別			木古庭	上山口	下山口	一色	堀内	長柄	合計
公設消防水利	消火栓	公 設 消 火 栓	27	58	39	120	112	86	442
	防火水槽	20 m³ 以上 40 m³ 未満			1	6	4	2	13
		40 m³ 以上 100 m³ 未満	1	14	6	12	16	15	64
		防 火 水 槽 小 計	1	14	7	18	20	17	77
指定消防水利	消火栓	私 設 消 火 栓			1	1		1	3
	防火水槽	20 m³ 以上 40 m³ 未満	1	4	3	8	9	1	26
		40 m³ 以上 100 m³ 未満	2	9	2	20	17	2	52
		100 m³ 以上		1			1	1	3
		防 火 水 槽 小 計	3	14	5	28	27	4	81
	その他	プ ル		1		1	3	2	7
		そ の 他 小 計		1		1	3	2	7
合 計			31	87	52	168	162	110	610

空地の枯草繁茂状況及び刈取り状況調査結果

平成28年度

地区		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り)
木古庭	繁茂状況調査	5	3	2
	第1回刈取り調査	3	1	2
	第2回刈取り調査	1	0	1
	最終刈取り調査	0	0	0
上山口	繁茂状況調査	7	1	6
	第1回刈取り調査	1	0	1
	第2回刈取り調査	0	0	0
	最終刈取り調査	0	0	0
下山口	繁茂状況調査	9	3	6
	第1回刈取り調査	3	3	0
	第2回刈取り調査	3	1	2
	最終刈取り調査	1	0	1
一色	繁茂状況調査	21	14	7
	第1回刈取り調査	14	5	9
	第2回刈取り調査	5	2	3
	最終刈取り調査	2	2	0
堀内	繁茂状況調査	16	8	8
	第1回刈取り調査	7	0	7
	第2回刈取り調査	0	0	0
	最終刈取り調査	0	0	0
長柄	繁茂状況調査	29	18	11
	第1回刈取り調査	18	12	6
	第2回刈取り調査	12	8	4
	最終刈取り調査	8	8	0
合計	繁茂状況調査	87	47	40
	第1回刈取り調査	46	21	25
	第2回刈取り調査	21	11	10
	最終刈取り調査	11	10	1

過去3年枯草繁茂状況

調査年度		調査対象	繁茂(未刈取り)	繁茂なし(刈取り)
27年度	繁茂状況調査	102	59	43
	最終刈取り調査	14	11	3
26年度	繁茂状況調査	100	53	47
	最終刈取り調査	20	17	3
25年度	繁茂状況調査	101	62	39
	最終刈取り調査	16	14	2

注)調査対象は以下の基準に該当した空地に繁茂する枯草。

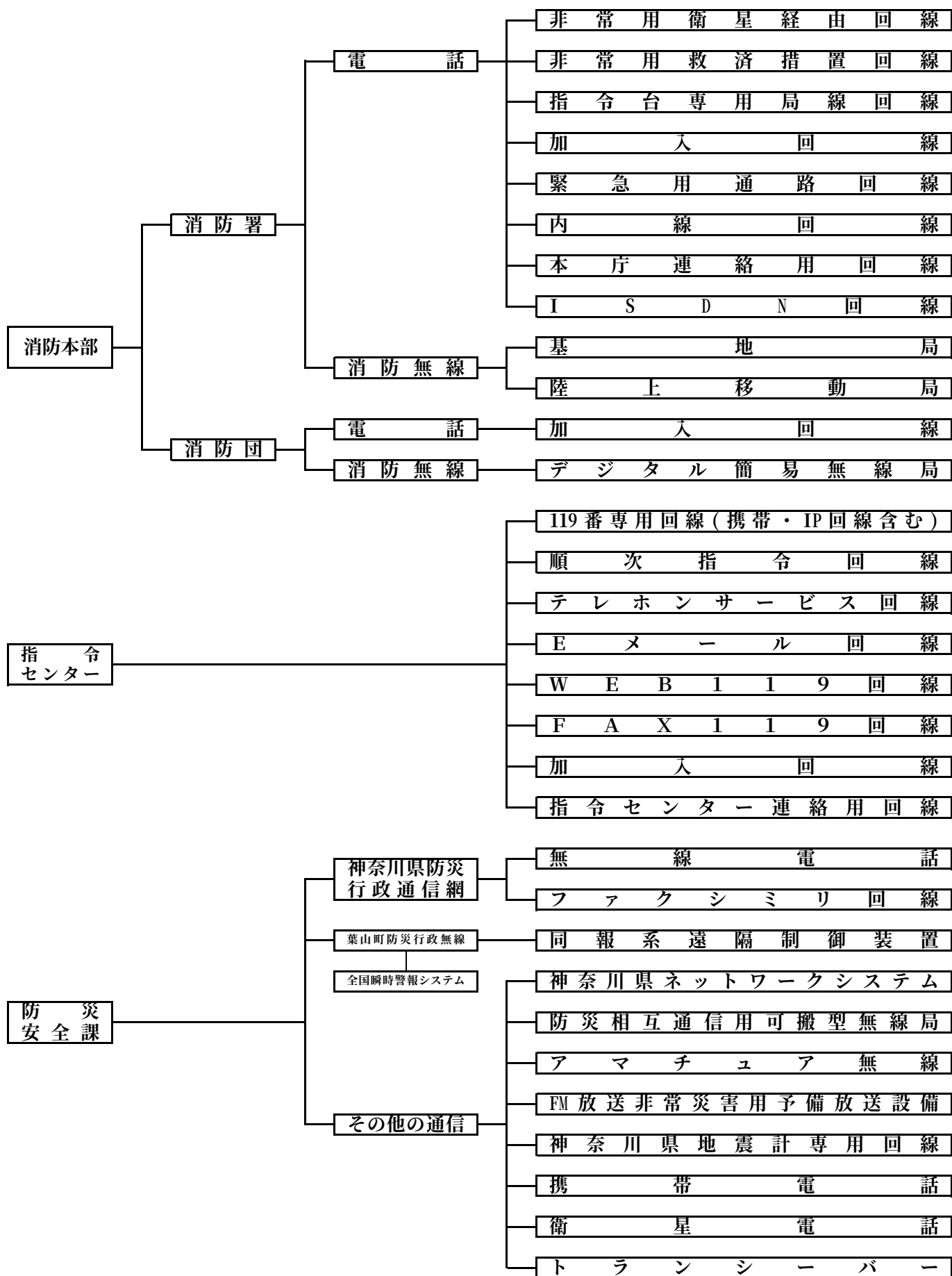
1. 建築物及び危険物施設等から10メートル以内に繁茂し、かつ高さが50センチ以上である場合。
2. 宅地造成地内に繁茂する枯草で、高さが50センチ以上である場合。
3. その他、特に火災予防上危険である場合。
4. 各調査の結果により、繁茂が確認された空地所有者に対し指導通知を行う。

指 令 関 係



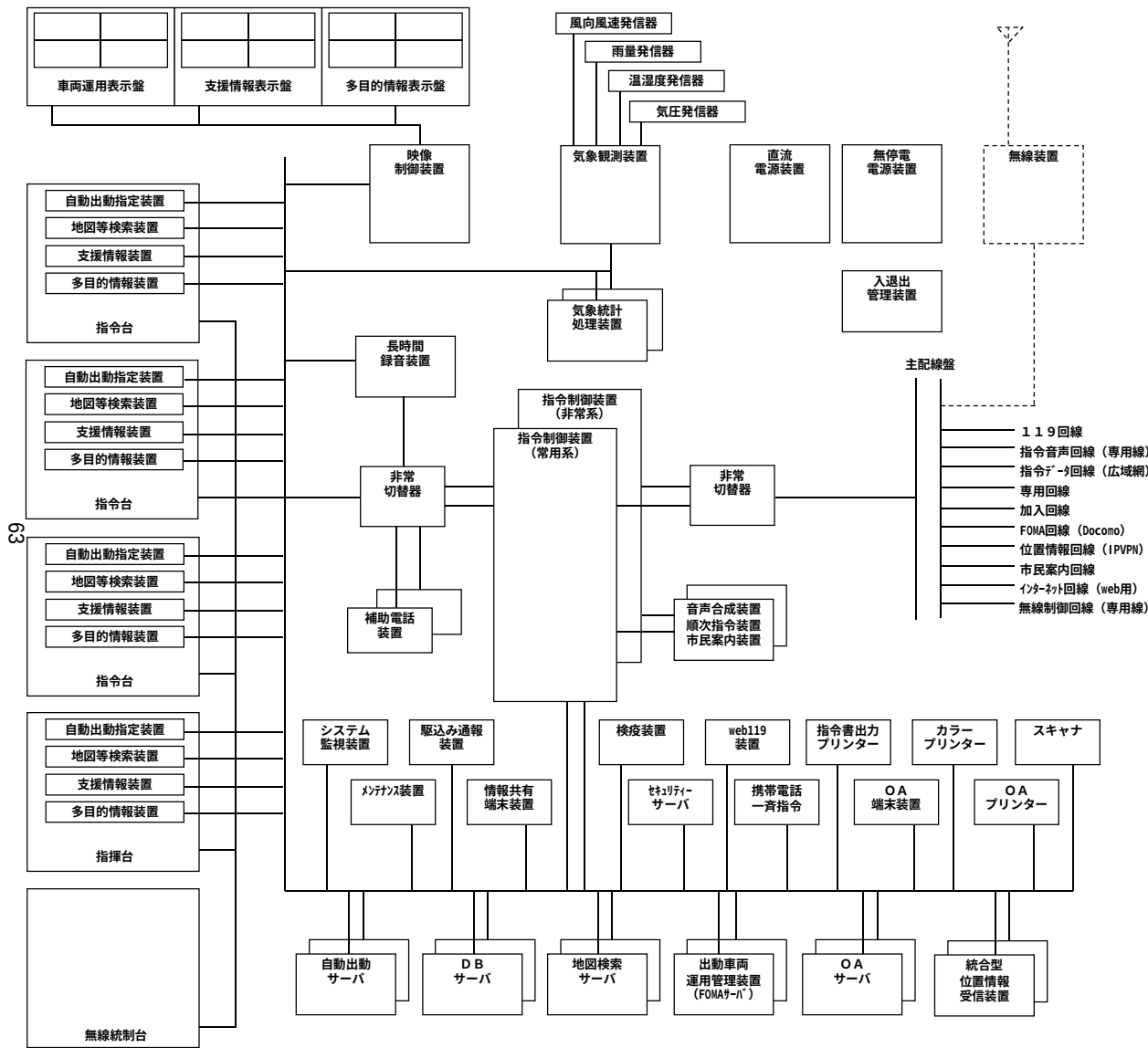
横須賀市・三浦市・葉山町消防指令センター

消防本部・署・団の通信施設

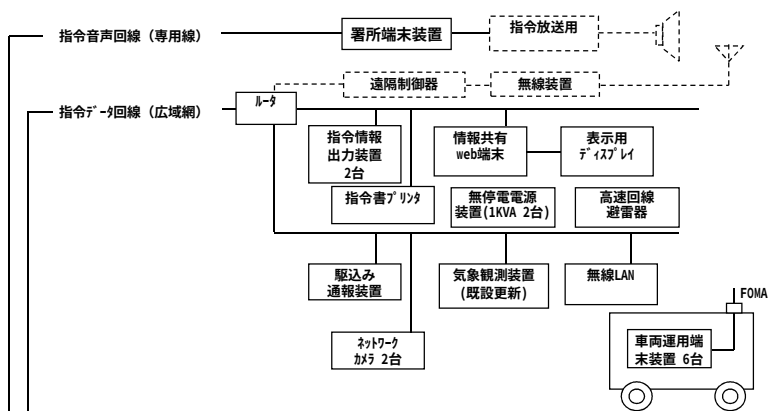


消防通信システム系統図

横須賀市消防局 共同指令センター



葉山町消防本部・消防署



消防本部・署・指令センター回線一覧表

平成29.4.1現在

種 別 数量			種 別 数量		
指令センター	119番専用回線(携帯・IP回線含む)	9	作戦室	非常用衛星経路回線	1
	順次指令回線	8		非常用救済措置回線	2
	テレホンサービス回線	10		指令台専用局線回線	2
	Eメール回線	1		緊急用通路回線(着信専用)	1
	WEB119回線	1		ISDN回線(県所有1回線含む)	2
	FAX119回線	1		電話交換装置	1
	加入回線	1		主配線盤(MDF)	1
	指令センター連絡用回線	1			
消防本部・署	加入回線(ダイヤルイン・多機能)	6			
	内線回線	66			
	本庁(役場)連絡用回線	6			

消防本部・署・指令センター通信機器一覧表

1 指令情報施設（消防本部・署）

平成29.4.1現在

名称	数量	名称	数量
受令端末装置	1 台	駆込通報装置	1 台
指令情報出力装置	2 台	風向風速発信器	1 式
情報共有WEB端末	2 台	雨量発信器	1 式
表示用液晶ディスプレイ	4 台	気象総合変換器	1 式
無停電電源装置	2 台	GPS時計装置	1 式
高速回線避雷器	1 式	気象データ処理装置	1 台
高速電源避雷器	2 式	車両運用端末装置	6 台
ネットワークカメラ	2 台		

2 指令情報施設（指令センター）

平成29.4.1現在

名称		数量	名称		数量
指令装置	指令台	6 台	表示盤	車両運用表示盤	4 面
	自動出動サーバ	1 台		支援情報表示盤	4 面
	データベースサーバ	1 台		映像制御 P C	1 台
	自動データメンテナンス装置	1 台		多目的情報表示盤	4 面
	表示盤接続用端末装置	3 台		システム制御装置	1 台
	事案管制装置	3 台		映像操作タッチパネル P C	1 台
	多目的情報表示装置	3 台	駆込通報装置受付用 P C		1 台
	自動出動指定装置	3 台	駆込通報装置受付用電話機		1 台
	地図検索サーバ	2 台	気象データ処理装置		2 台
	地図データメンテナンス装置	1 台	順次指令装置		1 台
	地図検索装置	3 台	音声合成装置		1 台
	長時間録音装置	1 台	システム監視装置		1 台
	非常用指令設備	1 式	無停電電源装置		2 式
	指令制御装置	1 式	直流電源装置		1 式
	指令メンテナンスサーバ	1 台	携帯電話一斉指令装置		1 台
	データメンテナンス装置	1 台	高速電源避雷器		2 台
	携帯電話・ I P 電話受信転送装置	4 枚	高速回線避雷器		100 回線
指揮台	指揮台	2 台	W E B 1 1 9 クライアント		1 台
	事案管制装置	1 台	無線統制台 統制席		1 台
	多目的情報表示装置	1 台	無線統制台 個別席		7 台
	自動出動指定装置	1 台	位置情報受信サーバ		1 台
	地図等検索装置	1 台			
指令電送装置	自動出動サーバ	1 台			
	ウイルス対策サーバ	2 台			
	検疫 P C	1 台			

無線局配置状況

基地局

平成29年4月1日現在

呼出名称	空中線電力(W)	摘 要
葉山消防	8	1CH（消防波）2CH（救急波） 送受信所：葉山町消防本部内 通信所：横須賀市消防局内

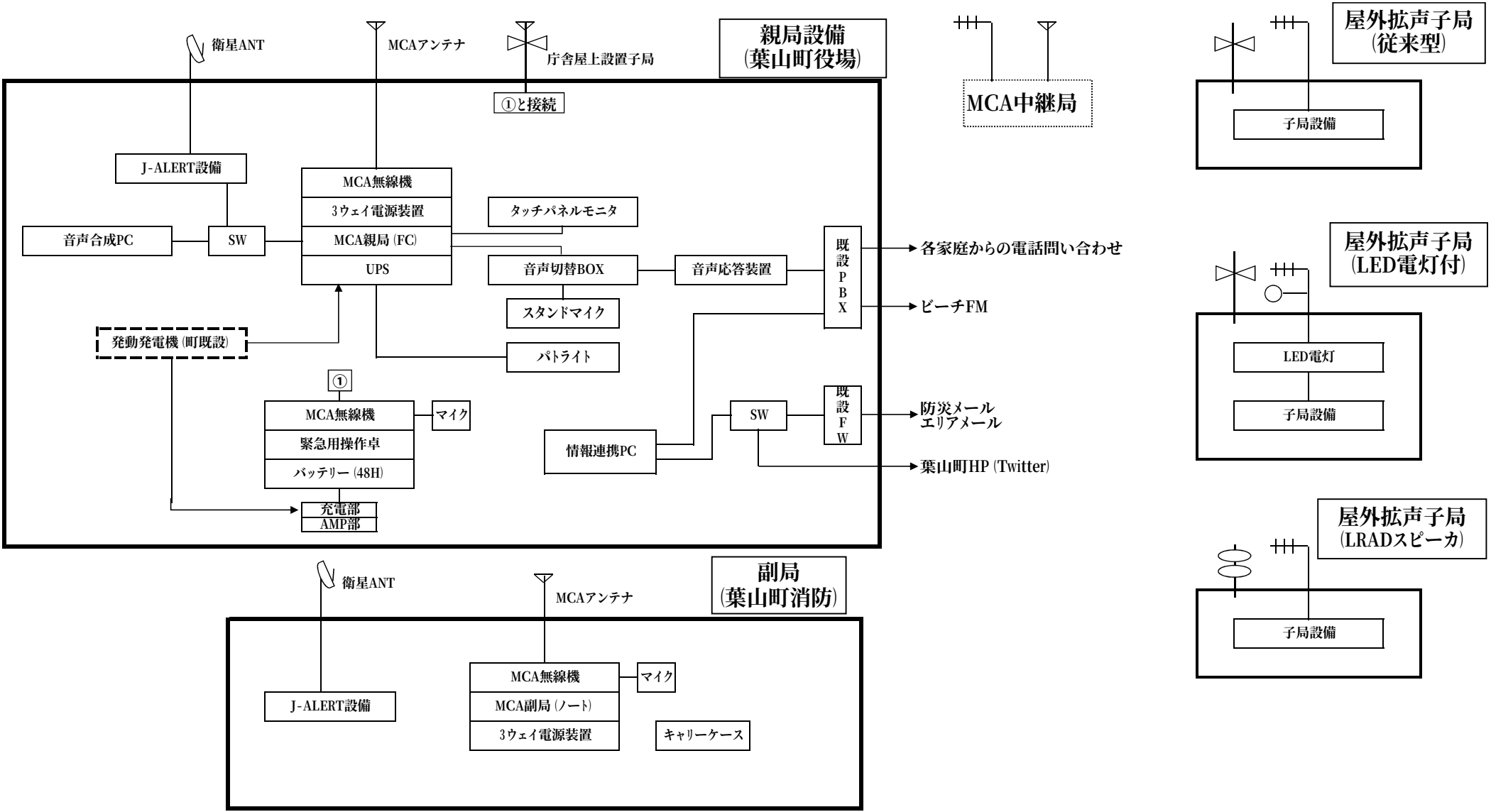
陸上移動局

呼出名称	空中線電力(W)	形態
葉山広報 1	5	可搬型
葉山指揮本部 1	5	〃
葉山指揮 1	5	車載型
葉山指揮ポンプ 1	5	〃
葉山ポンプ 2	5	〃
葉山救助 1	5	〃
救急葉山 1	5	〃
救急葉山 2	5	〃
葉山機動 1	5	〃
葉山機動 2	5	〃
葉山資材 1	5	〃
葉山資材 2	5	〃
葉山指揮101	2	携帯型
葉山指揮ポンプ101	2	〃
葉山ポンプ201	2	〃
葉山救助101	2	〃
救急葉山101	2	〃
救急葉山201	2	〃
葉山機動101	2	〃
葉山機動201	2	〃
葉山資材101	2	〃
葉山資材201	2	〃
葉山101	2	〃

陸上移動局（署活系無線）

葉山指揮301～303	1	携帯型
葉山指揮ポンプ301～304	1	〃
葉山ポンプ301～304	1	〃
葉山救助301～304	1	〃
救急葉山301～304	1	〃
葉山301、302	1	〃

防災行政無線システム構成図



防災通信機器等一覧表

1. 通信施設

(1) 葉山町防災行政無線

平成29.4.1現在

種 別	台数	設 置 場 所
固定系	親 局	1式 役 場 防 災 行 政 無 線 室
	副 局	1式 消 防 作 戦 室 （ 防 災 行 政 無 線 室 ）
	子 局	33台 町 内 各 箇 所
移動系	車載局・可搬局・携帯局	30台 役場・各学校・その他関係機関等（次頁参照）

(2) 神奈川県防災行政通信網

平成29.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
無 線 電 話	消 防 本 部 ・ 署 ・ 役 場	12台	各 関 係 部 署 に 配 置
ファクシミリ	消防作戦室・政策財政部財政課	2台	消 防 本 部 か ら 役 場 ま で は 有 線

ア. 無線電話配置場所及び番号

平成29.4.1現在

設 置 場 所	番 号	設 置 場 所	番 号
消 防 本 部 消 防 総 務 課 長	9 2 0 1	消 防 作 戦 室	9 2 0 9
消 防 長 室	9 2 0 2	政 策 財 政 部 財 政 課	9 3 0 6
災 害 対 策 本 部 室	9 2 0 3	都 市 経 済 部 産 業 振 興 課	9 3 0 7
消 防 本 部 予 防 課 長	9 2 0 4	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課	9 3 0 8
消防作戦室（防災行政無線室）	9 2 0 5	F A X （ 消 防 作 戦 室 ）	9 2 0 0
消 防 署 長	9 2 0 6	F A X （ 政 策 財 政 部 財 政 課 ）	9 3 0 0

2. その他通信機器等

平成29.4.1現在

種 別	設 置 場 所	台数	備 考
県ネットワークシステム	消 防 作 戦 室	1式	県 と 電 話 回 線 に て 接 続
アマチュア無線局	消 防 本 部 事 務 室	2基	代 表 葉 山 ア マ チ ュ ア 無 線 ク ラ ブ
県 計 測 地 震 計	消防作戦室（防災行政無線室）	1式	県 と 電 話 回 線 に て 接 続
衛 星 電 話	災 害 対 策 本 部 室	4台	災 害 非 常 用
携 帯 電 話	役場防災行政無線室	16台	災 害 非 常 用
特定少量電力トランシーバー	役場防災行政無線室	9台	災 害 非 常 用

3.防災用移動系無線局（MCA無線）

平成29.4.1現在

種	別	呼 出 し 名 称	配 置 先
MCA無線	1 車 載 型	は や ま 1	消 防 署
	2 車 載 型	は や ま 2	総 務 部 総 務 課
	3 車 載 型	は や ま 3	総 務 部 総 務 課
	4 車 載 型	は や ま 4	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課
	5 車 載 型	は や ま 5	総 務 部 総 務 課
	6 車 載 型	は や ま 6	都 市 経 済 部 道 路 河 川 課
	7 可 搬 型	は や ま 50	葉 山 警 察 警 備 課
	8 可 搬 型	は や ま 51	保 健 セ ン タ ー
	9 可 搬 型	は や ま 52	役 場 防 災 行 政 無 線 室 1
	10 可 搬 型	は や ま 53	役 場 防 災 行 政 無 線 室 2
	11 可 搬 型	は や ま 200	役 場 防 災 行 政 無 線 室 3
	12 携 帯 型	は や ま 201	役 場 防 災 行 政 無 線 室 4
	13 携 帯 型	は や ま 202	役 場 防 災 行 政 無 線 室 5
	14 携 帯 型	は や ま 203	役 場 防 災 行 政 無 線 室 6
	15 携 帯 型	は や ま 204	役 場 防 災 行 政 無 線 室 7
	16 携 帯 型	は や ま 205	役 場 防 災 行 政 無 線 室 8
	17 携 帯 型	は や ま 206	役 場 防 災 行 政 無 線 室 9
	18 携 帯 型	は や ま 207	町 立 葉 山 小 学 校
	19 携 帯 型	は や ま 208	町 立 上 山 口 小 学 校
	20 携 帯 型	は や ま 209	町 立 長 柄 小 学 校
	21 携 帯 型	は や ま 210	町 立 一 色 小 学 校
	22 可 搬 型	は や ま 211	町 立 葉 山 中 学 校
	23 可 搬 型	は や ま 212	町 立 南 郷 中 学 校
	24 可 搬 型	は や ま 213	役 場 防 災 行 政 無 線 室 12
	25 可 搬 型	は や ま 214	ク リ ー ン セ ン タ ー
	26 可 搬 型	は や ま 215	役 場 防 災 行 政 無 線 室 13
	27 可 搬 型	は や ま 216	南 郷 上 ノ 山 公 園
	28 可 搬 型	は や ま 217	し お さ い 公 園
	29 携 帯 型	は や ま 301	役 場 防 災 行 政 無 線 室 10
	30 携 帯 型	は や ま 302	役 場 防 災 行 政 無 線 室 11

消防団通信機器等一覧表

1.無線・有線施設

平成29.4.1現在

番号	設 備	台 数
1	デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	58
2	加 入 電 話	6

2.無線局

平成29.4.1現在

規 格	局 数	設 置 場 所	台 数	出力 (W)
デ ジ タ ル 簡 易 無 線 局	58局	本 団	3 台	5 W
		第 1 分 団	8 台	5 W
		第 2 分 団	8 台	5 W
		第 3 分 団	8 台	5 W
		第 4 分 団	8 台	5 W
		第 5 分 団	15 台	5 W
		第 6 分 団	8 台	5 W

119番着信件数（固定・IP電話等含む）

平成28年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	いたずら	間違い	その他		合計
							通報訓練等	試 験	
件数	15	1,052	2	5	6	52	127	39	1,298

携帯電話119番着信件数

平成28年中

種別	火災	救急	救助	その他 災害	いたずら	間違い	その他		合計
							通報訓練等	試 験	
件数	13	516	10	7	1	74	5	1	627

Web119を利用したの119通報件数

平成28年中

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

Web119登録者数

平成29年4月1日現在

登録者数
17

気 象 関 係



消防庁舎屋上の気象情報収集装置

月別気象調 気温(°C)

平成28年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最 高	16.2	20.6	18.9	22.0	27.0	28.4	31.8	34.5	30.7	29.4	20.7	19.5	
(起日)	(3日)	(14日)	(17日)	(26日)	(22日)	(18日)	(18日)	(9日)	(2日)	(6日)	(6日)	(23日)	
最 低	-3.8	0.9	0.9	6.5	11.3	13.9	19.2	20.5	17.6	10.2	0.5	0.9	
(起日)	(25日)	(9日)	(1日)	(12日)	(1日)	(3日)	(5日)	(28日)	(21日)	(28日)	(24日)	(17日)	
平均	6.6	7.5	10.1	15.2	19.0	21.4	24.3	26.5	24.1	18.8	11.8	9.8	16.3

湿度(%)

平成28年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最 高	93.2	98.1	99.3	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	98.5	
(起日)	(18日)	(21日)	(19日)	(7日)	(29日)	(25日)	(30日)	(30日)	(27日)	(25日)	(23日)	(23日)	
最 低	11.9	15.6	17.9	19.0	28.4	21.8	51.6	44.3	49.0	36.9	28.7	24.1	
(起日)	(25日)	(10日)	(1日)	(15日)	(18日)	(2日)	(19日)	(9日)	(2日)	(27日)	(9日)	(30日)	
平均	56.5	58.4	65.6	73.1	76.0	82.4	85.7	82.9	89.3	75.4	70.8	60.1	73.1

風速(m/s)

平成28年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
最 高	19.8	27.1	15.0	32.0	26.6	22.5	13.7	25.0	15.2	27.6	15.2	27.2	
風向	北西	南	北東	南	南	南	南	北西	南	南	南	南	
(起日)	(19日)	(14日)	(9日)	(17日)	(11日)	(25日)	(6日)	(22日)	(18日)	(6日)	(5日)	(23日)	
平均	1.5	1.9	1.6	2.0	2.1	1.6	1.3	1.6	1.4	1.3	1.3	1.5	1.6

雨量(mm)・積雪量(cm)

平成28年中

月別 種別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間 平均
日積算	43.5	39.0	53.0	46.0	40.5	55.0	39.5	193.0	96.5	18.5	44.5	24.0	
(起日)	(18日)	(20日)	(7日)	(14日)	(17日)	(13日)	(21日)	(22日)	(20日)	(17日)	(11日)	(14日)	
降雨日数	4日	7日	12日	15日	8日	14日	7日	14日	15日	9日	16日	8日	
降雨量	80.0	73.0	174.0	159.0	125.0	153.0	112.5	300.5	260.0	59.5	148.5	64.5	
積雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
積雪量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

風向頻度調(%)

平成28年中

風向	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	平均	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
北	4.5	5.0	5.1	5.5	4.2	3.2	3.6	1.8	2.9	5.2	4.8	9.1	4.3
北北東	8.1	11.7	10.1	7.5	5.7	4.6	3.4	4.3	5.3	6.1	12.6	15.5	9.8
北東	12.3	16.8	14.9	14.6	10.6	6.1	5.4	6.2	9.2	9.1	17.1	21.1	15.6
東北東	20.5	26.3	25.3	21.1	20.8	13.2	11.3	12.3	13.9	19.9	24.4	25.5	30.5
東	9.7	10.7	10.0	9.4	7.9	7.6	6.4	11.5	10.2	9.7	12.8	7.4	12.1
東南東	4.1	2.6	2.5	3.9	3.7	4.7	4.1	7.2	5.7	4.9	5.7	2.6	2.2
南東	2.8	1.4	2.0	3.4	2.3	2.9	3.0	5.0	3.9	3.9	3.5	1.1	1.1
南南東	4.0	1.1	2.3	3.2	5.3	6.2	7.1	6.8	5.7	6.2	2.4	1.1	1.1
南	11.2	2.1	6.6	6.4	18.5	24.8	21.3	19.0	15.2	13.4	4.3	1.5	4.8
南南西	7.9	2.9	4.6	8.7	12.0	11.4	15.0	11.3	10.3	9.0	3.3	1.9	4.1
南西	3.8	1.9	1.7	3.6	2.3	4.5	7.3	9.0	6.5	3.3	2.2	1.3	1.7
西南西	0.9	0.6	0.7	1.0	1.0	1.0	1.5	1.2	1.1	0.9	0.9	0.5	0.5
西	0.8	1.2	1.1	0.9	0.7	1.0	1.1	0.4	0.7	0.3	0.7	0.5	1.0
西北西	1.8	4.8	3.7	1.5	0.7	1.3	1.2	0.7	1.1	0.9	1.3	1.4	2.5
北西	3.3	6.4	5.5	3.7	1.3	3.1	3.1	1.4	3.2	2.2	1.4	2.9	5.1
北北西	4.3	4.5	3.9	5.6	3.0	4.4	5.2	1.9	5.1	5.0	2.6	6.6	3.6
静穏	4.2	1.4	1.5	2.1	2.7	4.2	6.5	6.0	4.3	6.1	5.8	4.6	5.0

予 防 関 係



2016防火ポスターコンクール入賞作品

防火対象物・防火管理者選任状況

(延べ面積150㎡以上)

平成29.4.1現在

区分 用途			防火対象物数	防火管理者 選任義務対象物	防火管理者 選任届出済対象物
1 項	イ	劇場等			
	ロ	公会堂等	16	16	14
2 項	イ	キャバレー等			
	ロ	遊技場等			
	ハ	性風俗関連店舗等			
	ニ	カラオケボックス等			
3 項	イ	待合等			
	ロ	飲食店等	17	13	13
4 項		物品販売店等	27	20	20
5 項	イ	旅館等	23	19	19
	ロ	共同住宅等	209	22	22
6 項	イ	病院等	5	3	3
	ロ	社会福祉施設等（入所）	13	13	12
	ハ	社会福祉施設等（通所）	9	5	4
	ニ	幼稚園等	7	5	5
7 項		学校等	17	7	7
8 項		図書館等	4	3	3
9 項	イ	蒸気浴場等			
	ロ	公衆浴場等			
10 項		停車場等			
11 項		神社等	17	4	4
12 項	イ	工場等	6	1	1
	ロ	スタジオ等			
13 項	イ	駐車場等	3		
	ロ	格納庫等			
14 項		倉庫等	9		
15 項		事業所等	44	11	11
16 項	イ	特定複合用途	69	29	29
	ロ	非特定複合用途等	20	1	1
16項の2		地下街			
16項の3		準地下街			
17 項		重要文化財等	1	1	1
18 項		アーケード			
19 項		山林			
20 項		舟車			
合 計			516	173	169

3階建て以上防火対象物状況

(延べ面積150㎡以上)

平成29.4.1現在

用途 \ 階数			3	4	5	6	7	8	合計
1 項	イ	劇場等							
	ロ	公会堂等	2						2
2 項	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗関連店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3 項	イ	待合等							
	ロ	飲食店等	2						2
4 項		物品販売店等							
5 項	イ	旅館等	7	4		1			12
	ロ	共同住宅等	38	12	9	8	1	1	69
6 項	イ	病院等	1						1
	ロ	社会福祉施設等（入所）	4	3	1				8
	ハ	社会福祉施設等（通所）	2						2
	ニ	幼稚園等							
7 項		学校等	11						11
8 項		図書館等							
9 項	イ	蒸気浴場等							
	ロ	公衆浴場等							
10 項		停車場等							
11 項		神社等	1						1
12 項	イ	工場等	1						1
	ロ	スタジオ等							
13 項	イ	駐車場等							
	ロ	格納庫等							
14 項		倉庫等	1						1
15 項		事業所等	9	2					11
16 項	イ	特定複合用途	27	6	1		1		35
	ロ	非特定複合用途等	10	4	1				15
16 項の2		地下街							
16 項の3		準地下街							
17 項		重要文化財等							
18 項		アーケード							
19 項		山林							
20 項		舟車							
合計			116	31	12	9	2	1	171

防火対象物届出状況

平成28年度

届出 用途		防火 管理者選任 (解任届出書)	消防 計画作成 (変更)届出書	統括 防火管理者選任 (解任届出書)	全体 についての消防計画作成 (変更)届出書	防火 対象物点検結果報告書	特例 認定適用申請書	圧縮 アセチレンガス等貯蔵又は 取扱いの届出書	消防 用設備等設置届出書	消防 用設備等点検結果報告書	工事 整備対象設備設置届出書	消防 用設備等特例規定適用申請書	表示 マーク交付(更新)申請書	火気 使用設備等設置届出書	電気 設備等設置届出書	防火 対象物使用開始届出書	防火 対象物用途廃止届出書	防火 対象物廃止届出書	合 計
1	イ 劇場等																		0
	ロ 公会堂等	2	2			8			6	8	4					2			32
2	イ キャバレー等																		0
	ロ 遊技場等																		0
	ハ 性風俗関連店舗等																		0
	ニ カラオケボックス等																		0
3	イ 待合等																		0
	ロ 飲食店等	4	5			1			10	19	5					7			51
4	物品販売店等	10	6						8	17	6			1	2	3	1	1	55
5	イ 旅館等	3	9			1	2		18	23	6		2	2	1	4		1	72
	ロ 共同住宅等		2					1	3	54	3					1			64
6	イ 病院等		1			1			1	4									7
	ロ 社会福祉施設等(入所)	4	7						16	9	12				2	4			54
	ハ 社会福祉施設等(通所)	1	1						9	10	7				1	4		2	35
	ニ 幼稚園等		1							4									5
7	学 校 等	4	2						1	7	1								15
8	図 書 館 等	1	1							4									6
9	イ 蒸気浴場等																		0
	ロ 公衆浴場等																		0
10	停 車 場 等																		0
11	神 社 等		1						3	9						1			14
12	イ 工場等	1	1							3									5
	ロ スタジオ等																		0
13	イ 駐車場等																		0
	ロ 格納庫等																		0
14	倉 庫 等									2						1			3
15	事 業 所 等	1							2	20					1	2			26
16	イ 特定複合用途	5	7	1	1	8		1	20	41	7	1				13			105
	ロ 非特定複合用途等	1								2						3			6
16の2	地 下 街																		0
16の3	準 地 下 街																		0
17	重 要 文 化 財 等									1									1
18	ア ー ケ ー ド																		0
19	山 林																		0
20	舟 車																		0
そ の 他																1			1
合 計		37	46	1	1	19	2	2	97	237	51	1	2	3	7	46	1	4	557

その他届出状況

平成28年度

月 届出	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
催物開催届出書	1					1		2				2	6
火災と紛らわしい行為の届出書	5	4	4	4		1	2	10	14	13	6	4	67
煙火打上げ届出書			1	2									3
道路工事（占用）届出書	8	9	13	5	7	9	16	3	7	7	11	6	101
露店等開設届出書	1	1		2	2	1	1	1				1	10

危険物関係届出状況

平成28年度

種別 製造所等の別	少量危険物貯蔵取扱届い出書	少量危険物貯蔵取扱い廃止届出書	危険物保安監督者選任（解任）届出書	危険物製造所等完成検査申請所	危険物貯蔵所（取扱所）変更届出書	予防規程制定変更認可申請書	危険物製造所等変更許可申請書	危険物製造所等仮使用承認申請書	危険物仮貯蔵・仮取扱申請書	危険物製造所等譲渡引渡し申請書	危険物製造所等設置許可申請書	危険物製造所等休止届出書	危険物製造所等廃止届出書	資料提出書	合計
屋内貯蔵所															0
屋内タンク貯蔵所															0
地下タンク貯蔵所					1										1
移動タンク貯蔵所															0
給油取扱所			1	4	2	2	3	3						8	23
第2種販売取扱所															0
一般取扱所					3									2	5
合計	0	0	1	4	6	2	3	3	0	0	0	0	0	10	29

火災予防査察実施状況

防火対象物（対象は150㎡以上）

平成28年度

消防法施行令 別表第1の防火対象物			査察実施数	防火対 象物数 A	査察 実施数 B	査察 実施率 B/A %	警告数	命令数
(1)	ロ	公 会 堂 等		16				
(3)	ロ	飲 食 店 等		17	8	47		
(4)		物 品 販 売 店 等		27	15	56		
(5)	イ	旅 館 等		23	20	87		
	ロ	共 同 住 宅 等		209				
(6)	イ	病 院 等		5	2	40		
	ロ	社会福祉施設等（入所）		13	11	85		
	ハ	社会福祉施設等（通所）		9	3	33		
	ニ	幼 稚 園 等		7	5	71		
(7)		学 校 等		17				
(8)		図 書 館 等		4	1	25		
(11)		神 社 等		17				
(12)	イ	工 場 等		6				
(13)	イ	駐 車 場 等		3				
(14)		倉 庫		9				
(15)		事 業 所 等		44				
(16)	イ	特 定 複 合 用 途		69	28	41		
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等		20				
(17)		重 要 な 文 化 財 等		1				
合 計				516	93	18		

危険物施設

平成28年度

危険物施設	査察実施数	危険物 施設数 A	査察 実施数 B	査察 実施率 B/A %	警告数	命令数
屋 内 貯 蔵 所		1				
屋内タンク貯蔵所		1	1	100		
地 下 タ ン ク		13	8	62		
移動タンク貯蔵所		2	2	100		
給 油 取 扱 所		8	8	100		
第 2 種 販 売 所		1				
一 般 取 扱 所		10	2	20		
合 計		36	21	58		

危険物施設状況

平成29.4.1現在

貯蔵所等 区分		貯 蔵 所				取扱所			合 計
		屋 内	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	給 油	第2種販売	一 般	
類 別	第 1 類								
	第 2 類								
	第 3 類								
	第 4 類	1	1	13	2	8	1	10	36
	第 5 類								
	第 6 類								
合 計		1	1	13	2	8	1	10	36
数 量 別	5 倍 以 下	1	1	10	1			4	17
	5 倍を超え10 倍以下			2	1	1		6	10
	10 倍を超え50 倍以下			1		2	1		4
	50 倍を超え100 倍以下					1			1
	100倍を超え150 倍以下								
	150 倍を超え200 倍以下					1			1
	200 倍を超えるもの					3			3
合 計		1	1	13	2	8	1	10	36

地区別危険物施設状況

平成29.4.1現在

地区 貯蔵所等		木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
屋 内 貯 蔵 所						1		1
屋内タンク貯蔵所						1		1
地下タンク貯蔵所		1	1	3	1	6	1	13
移動タンク貯蔵所							2	2
給 油 取 扱 所		3			2	2	1	8
第 2 種 販 売 取 扱 所		1						1
一 般 取 扱 所		1	2	1	3	2	1	10
合 計		6	3	4	6	12	5	36
少 量 危 険 物		3	13	4	9	8	9	46

地区別危険物貯蔵取扱状況

平成29.4.1現在

地区 類別		木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
第 4 類 (ℓ)	第 1 石 油 類	88,000			80,000	6,080	50,000	224,080
	第 2 石 油 類	38,956.8	16,078	15,980	70,000	32,917	41,558	215,489.8
	第 3 石 油 類	6,000		5,000	11,000	67,381	19,000	108,381
	第 4 石 油 類							
合 計		132,956.8	16,078	20,980	161,000	106,378	110,558	547,950.8

危険物施設許認可処理状況

平成28年度

貯蔵所等 件数		貯蔵所				取扱所			合
		屋内	屋内 タンク	地下 タンク	移動 タンク	給油	第2種 販売	一般	計
許可	変更					3			3
	設置								
完成 検査	変更					3			3
	設置					1			1
他市への変更									
(移動タンク)									
仮使用承認						3			3
休止届									
廃止届									
完成検査前検査									
合計						10			10

用途別建築同意等事務処理状況

(計画通知は同意に含む)

平成28年度

用途 \ 種別			新 築	増 築	改 築	用途 変更	合 計
1	イ	劇 場 等					
	ロ	公 会 堂 等					
2	イ	キ ャ バ レ ー 等					
	ロ	遊 技 場 等					
	ハ	性 風 俗 関 連 店 舗 等					
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					
3	イ	待 合 等					
	ロ	飲 食 店 等	2	2			4
4		物 品 販 売 店 等	3				3
5	イ	旅 館 等					
	ロ	共 同 住 宅 等	2				2
6	イ	病 院 等					
	ロ	社 会 福 祉 施 設 等（入 所）	7				7
	ハ	社 会 福 祉 施 設 等（通 所）	3				3
	ニ	幼 稚 園 等					
7		学 校 等					
8		図 書 館 等					
9	イ	蒸 気 浴 場 等					
	ロ	公 衆 浴 場 等					
10		停 車 場 等					
11		神 社 等					
12	イ	工 場 等					
	ロ	ス タ ジ オ 等					
13	イ	駐 車 場 等	1				1
	ロ	格 納 庫 等					
14		倉 庫 等	2				2
15		事 業 所 等	1				1
16	イ	特 定 複 合 用 途	5				5
	ロ	非 特 定 複 合 用 途 等	1				1
住 宅		同 意	20				20
		通 知	223	5			228
長 屋			4				4
仮 設 海 の 家			8				8
建 築 設 備		通 知	7				7
そ の 他			6				6
小 計		同 意	65	2			67
		通 知	230	5			235
合 計			295	7			302

地区別消防同意・確認通知・計画通知状況

平成28年度

地区 区分	木 古 庭	上 山 口	下 山 口	一 色	堀 内	長 柄	合 計
消 防 同 意		3	6	28	12	18	67
確 認 通 知	3	9	27	67	64	65	235
計 画 通 知							
合 計	3	12	33	95	76	83	302

過去5年間の消防同意・確認通知・計画通知状況

年 種別	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
新 築	42	37	57	45	64
	192	174	192	184	230
増 築	2	4			2
	4	7	4	5	5
改 築					
用 途 変 更	1				1
小 計	45	41	57	45	67
	196	181	196	189	235
合 計	241	222	253	234	302

上段 消防同意によるもの
 中段 確認通知書によるもの
 下段 計画通知によるもの

救 急 関 係



高規格救急車

救急概況

救急出場件数単位：件

救急搬送人員単位：人

平成28年中

救 急 出 場 件 数	1,585
救 急 搬 送 人 員	1,499

町内外在住別搬送人員状況

単位：人

平成28年中

町 内 在 住 者	1,234
町 外 在 住 者	264
そ の 他	1
合 計	1,499

傷病程度別搬送人員状況

単位：人

平成28年中

死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
19	102	653	725		1,499

発生日別状況

単位：件

平成28年中

休 日	休日以外	合 計
332	1,253	1,585

救急救命士資格者及び再教育実施状況

単位：人

平成29.3.31現在

救急救命士	特定行為認定救命士				再教育
	気管挿管	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	薬剤投与	拡大2行為	
14	8	6	14	11	9

・「拡大2行為」とは、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与をいう。

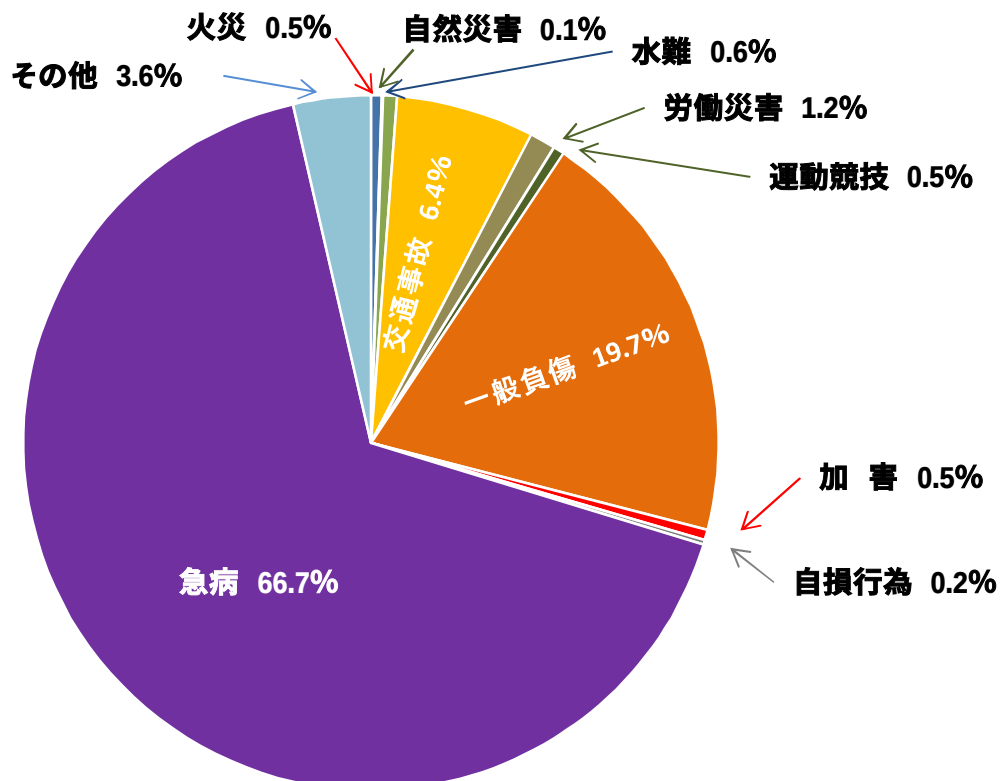
・「再教育」とは、救急業務に従事している者で、2年間で128時間以上(96時間以上の病院実習及び32時間以上の指定教育プログラム)の教育を修了した者。

救急出場・搬送人員状況

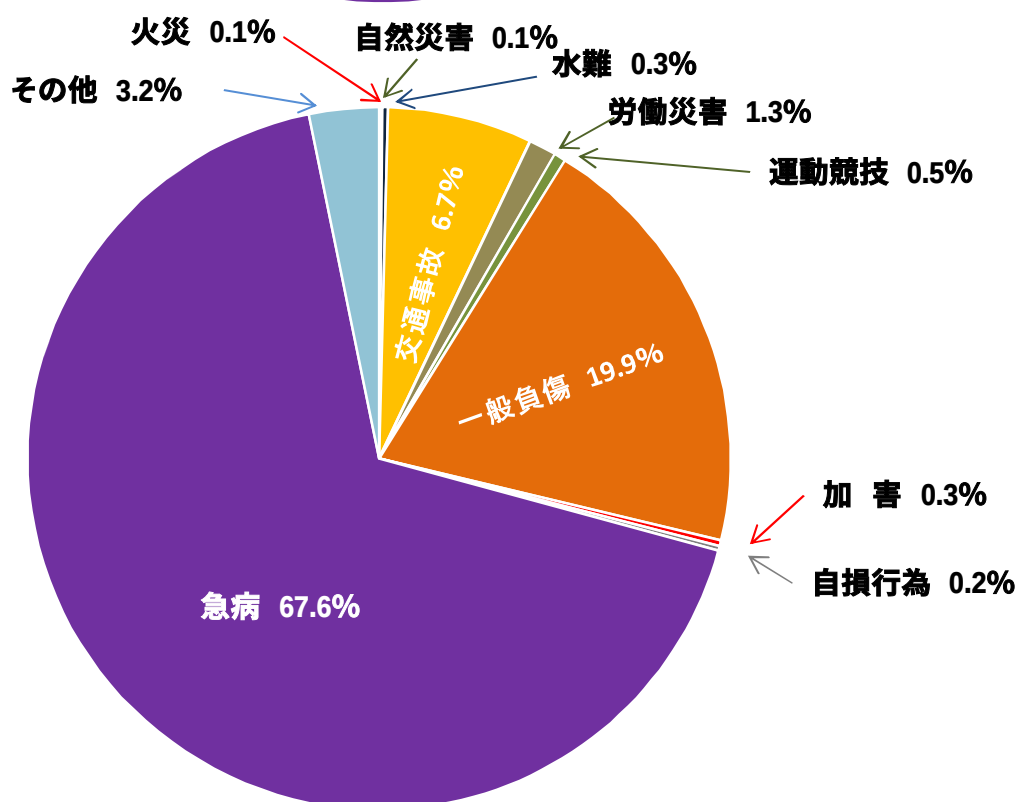
平成28年中

種別 件数/人員	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
出場件数	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585
搬送人員	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499

出場件数



搬送人員



月別救急出場・搬送人員状況

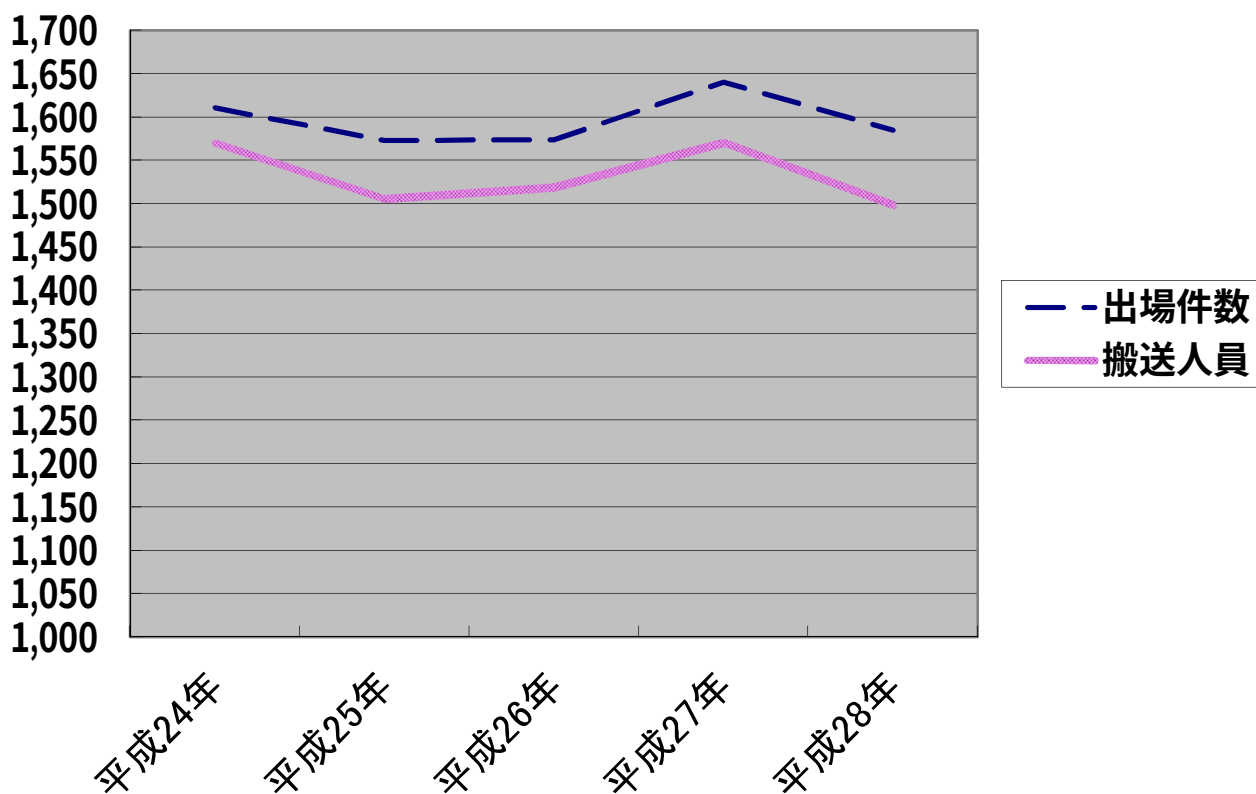
平成28年中

月	種別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計	不 搬 送
	件数/人員													
1	出 場 件 数			1	8	1		17			78	3	108	5
	搬 送 人 員				7	1		16			76	3	103	
2	出 場 件 数				7	1		22		1	78	2	111	5
	搬 送 人 員				6	1		20		1	76	2	106	
3	出 場 件 数	2			13	4		22			80	4	125	7
	搬 送 人 員	1			13	4		22			75	4	119	
4	出 場 件 数	1	1	1	7	1		32	1	1	106	4	155	10
	搬 送 人 員		1		7	1		31	1	1	101	3	146	
5	出 場 件 数			2	16		2	25	1		86	4	136	6
	搬 送 人 員				16		2	25			83	4	130	
6	出 場 件 数	1			5			25		1	84	6	122	10
	搬 送 人 員				6			23		1	79	5	114	
7	出 場 件 数			4	8	4	1	32			126	6	181	13
	搬 送 人 員			2	7	4	1	31			119	4	168	
8	出 場 件 数	1		2	11	2	3	26	1		85	7	138	7
	搬 送 人 員			2	9	2	3	26	1		82	6	131	
9	出 場 件 数				2	3	1	27			85	6	124	10
	搬 送 人 員				2	3	1	24			80	4	114	
10	出 場 件 数	3			3	2		24			83	10	125	8
	搬 送 人 員				3	2		24			79	9	117	
11	出 場 件 数				13	1	1	22	5		88	3	133	9
	搬 送 人 員				14	1	1	20	2		85	2	125	
12	出 場 件 数				9			38			78	2	127	2
	搬 送 人 員				10			36			78	2	126	
合計	出 場 件 数	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585	92
	搬 送 人 員	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況

年	種別 件数/人員	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計	不 搬 送
平成 24年	出 場 件 数	7	2	1	110	15	3	284	12	5	1,137	35	1,611	65
	搬 送 人 員		2	1	122	13	3	273	10	4	1,107	35	1,570	
平成 25年	出 場 件 数	10		6	116	12	9	301	6	11	1,061	41	1,573	84
	搬 送 人 員	1		4	121	11	9	306	4	3	1,006	41	1,506	
平成 26年	出 場 件 数	7		5	92	10	8	301	6	6	1,071	68	1,574	68
	搬 送 人 員	6		3	86	10	8	295	5	3	1,035	68	1,519	
平成 27年	出 場 件 数	6		6	89	10	5	320	2	8	1,141	53	1,640	83
	搬 送 人 員	2		3	96	10	5	308	2	6	1,094	45	1,571	
平成 28年	出 場 件 数	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585	92
	搬 送 人 員	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499	

過去5年間の救急出場・搬送人員状況



町内外在住別救急搬送人員状況

平成28年中

種別 在住	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
町 内	1			52	8	2	243	3	3	894	28	1,234
町 外		1	4	48	11	6	55	1		118	20	264
そ の 他										1		1
合 計	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499

時間別救急出場状況

平成28年中

種別 時間	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0 ～ 2	1			7			12	1		55	2	78
2 ～ 4	1			3			6			51	1	62
4 ～ 6				2			5		1	37	3	48
6 ～ 8				8	1		18	2		79		108
8 ～ 10				15	1	1	47	1		125	5	195
10 ～ 12			3	7	5	3	41			124	14	197
12 ～ 14	1	1	4	18	4	4	39			98	7	176
14 ～ 16	1		1	11	2		40		1	84	7	147
16 ～ 18	3		2	11	6		27			109	6	164
18 ～ 20	1			12			36	3		117	7	176
20 ～ 22				3			29			102	3	137
22 ～ 24				5			12	1	1	76	2	97
合 計	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585

曜日別救急出場状況

平成28年中

種別 曜日	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
日		1	4	17	7	4	59	2	2	151	6	253
月			1	20	2		47	1		161	6	238
火	1		1	15	4	1	41			126	6	195
水	1			11	2		38	1		144	11	208
木	5		2	16	3	1	32	1		159	9	228
金			1	14	1		40	1		151	7	215
土	1		1	9		2	55	2	1	165	12	248
合 計	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585

覚知別救急出場状況

平成28年中

種別 覚知	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
119 番	4		5	42	12	6	188	6		618	36	917
加 入	2			1			2			17	5	27
か け つ け				2			2			6		10
そ の 他	2	1	5	57	7	2	120	2	3	416	16	631
合 計	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585

地区別救急出場状況

平成28年中

種別 地区	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
木 古 庭	2	1		12	6		17	1	1	72	1	113
上 山 口	1			18	1		27			106	3	156
下 山 口			1	4		1	26			68	23	123
一 色	3		1	21	5		90	1		314	18	453
堀 内	1		8	24	4	4	92	2	1	270	5	411
長 柄	1			23	3	3	58	4	1	223	6	322
町 外							2			4	1	7
合 計	8	1	10	102	19	8	312	8	3	1,057	57	1,585

年齢区分・傷病程度別救急搬送人員状況

平成28年中

年齢区分	種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
	傷病程度												
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
	合計												
乳幼児	死亡												
	重症							1					1
	中等症							6			7	6	19
	軽症				3			22			37	1	63
	その他												
	合計				3			29			44	7	83
少年	死亡												
	重症				1								1
	中等症				6		2	2			8		18
	軽症				8		3	10			24		45
	その他												
	合計				15		5	12			32		64
成人	死亡			1						1	3		5
	重症				4	1		2			10	2	19
	中等症			2	11	4	1	11	1	1	86	5	122
	軽症				42	10	2	57	3		146		260
	その他												
	合計			3	57	15	3	70	4	2	245	7	406
老人	死亡							1			13		14
	重症			1	3			10			60	7	81
	中等症	1			4	1		81		1	382	24	494
	軽症		1		18	3		95			237	3	357
	その他												
	合計	1	1	1	25	4		187		1	692	34	946
合計	死亡			1				1		1	16		19
	重症			1	8	1		13			70	9	102
	中等症	1		2	21	5	3	100	1	2	483	35	653
	軽症		1		71	13	5	184	3		444	4	725
	その他												
	合計	1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499

救急隊員の行った応急処置

平成28年中

種別 応急処置					
	急病	交通	一般負傷	その他	合計
応急処置対象人員	1,013	100	297	88	1,498
止血	5	7	25	5	42
固定	16	70	94	16	196
人工呼吸	14		1	2	17
心マッサージ	1				1
うち自動	1				1
心肺蘇生	20		3	2	25
うち自動					
酸素吸入	267	16	15	37	335
気道確保	56	1	5	3	65
うち経鼻エアウェイ	4			1	5
うち喉頭鏡・鉗子等使用	8		1		9
うちラリゲアルマスク等使用	14		1	1	16
気管挿管	1		1		2
保温	757	81	226	61	1,125
被覆	10	51	109	20	190
在宅療法継続	36	1	3	1	41
A点滴				1	1
B外瘻	11			1	12
Cその他	28	1	3		32
除細動	5			1	6
薬剤投与	11		2	1	14
その他の応急処置	1,007	99	292	86	1,484
血圧測定	974	99	283	85	1,441
聴診器	420	59	71	29	579
血中酸素飽和度測定	993	100	290	86	1,469
心電図	778	45	113	52	988
うち伝送					
静脈路確保	17		2	1	20
うちCPA前	1				1
血糖測定	4				4
エピペン投与					
ブドウ糖投与	1				1

収容状況

平成28年中

種別 収容先		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	延 搬 送 人 員
町内医療機関					2	1	1	6			96		106
町外医療機関	逗子市				3		1	12			8		24
	横須賀市	1	1	3	73	16	4	180	3	3	559	20	863
	鎌倉市			1	5	1		40	1		180	23	251
	横浜市				17	1	2	59			169	3	251
	その他							1			1	2	4
合 計		1	1	4	100	19	8	298	4	3	1,013	48	1,499

医療機関紹介状況

平成28年中

照 会 先	管内当番医療機関	当番以外の 管内医療機関	その他の医療機関	合 計
件 数	163		371	534

応急手当普及啓発活動実施状況

平成28年中

講 習	実 施 要 綱 に 基 づく 普 及 講 習		その他の講習	合 計
	普通救命講習	上級救命講習		
実 施 回 数	24	2	4	30
受 講 人 数	487	25	104	616

応援救急出場件数

平成28年中

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
横 須 賀 市												0
逗 子 市							2			4	1	7
合 計							2			4	1	7

受援救急件数

平成28年中

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
横 須 賀 市	1			4			3			17	1	26
逗 子 市							6			7	1	14
合 計	1			4			9			24	2	40

救 助 関 係



平成28年12月 救助実戦訓練会

救助概況

平成28年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出 場 件 数		3		4	7				7			9	30
活 動 件 数		2		4	1				7			7	21
救 助 人 員		2		6	1				7			7	23
出場延人員		144		40	70				59			121	434

救助出場人員・活動人員状況

平成28年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
出場人員	救 助 隊 員	6		8	14				14			26	68
	消 防 隊 員	43		14	35				24			65	181
	救 急 隊 員	9		18	21				21			30	99
	消 防 団 員	86											86
	合 計	144		40	70				59			121	434
活動人員	救 助 隊 員	4		8	2				14			22	50
	消 防 隊 員	32		12	5				21			45	115
	救 急 隊 員	6		18	3				21			15	63
	消 防 団 員	55											55
	合 計	97		38	10				56			82	283

発生場所別救助人員状況

平成28年中

種別 区分		火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外										
屋内	住 居	2							7				9
	その他の屋内												
屋外	道路												
	高速道路												
	その他の道路			6									6
	水面												
	内水面												
	外水面				1								1
山岳	山 岳												
	その他の屋外											7	7
地 下													
そ の 他													
合 計		2		6	1				7			7	23

救助出場車両・活動車両状況

平成28年中

種別 区分		火 災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外										
出場車両等	救助工作車	1		4	1				4			9	19
	消防ポンプ自動車	8		4	7				7			17	43
	救急自動車	6		2	9				6			10	33
	その他	3		6	11				7			12	39
	消防団車両	7											7
	合計	25		16	28				24			48	141
活動車両等	救助工作車	1		4	1				4			8	18
	消防ポンプ自動車	6		4	1				7			13	31
	救急自動車	4		1	1				6			6	18
	その他	2		6	1				7			6	22
	消防団車両	4											4
	合計	17		15	4				24			33	93

発生場所別救助出場(活動)状況

平成28年中

種別 区分		火 災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外										
屋内	住 居	3(2)							7(7)				10(9)
	その他の屋内												
屋外	道路												
	高速道路												
	その他の道路			4(4)									4(4)
	水面												
	内水面												
	外水面				7(1)								7(1)
山 岳													
	その他の屋外											9(7)	9(7)
地 下													
そ の 他													
合 計		3(2)		4(4)	7(1)				7(7)			9(7)	30(21)

() 内は活動件数を表す

時間別救助出場（活動）状況

平成28年中

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外										
0 ～ 2	1(1)		1(1)									2(2)
2 ～ 4	1(1)											1(1)
4 ～ 6												
6 ～ 8												
8 ～ 10			1(1)					1(1)				2(2)
10 ～ 12			1(1)	1				3(3)			2(1)	7(5)
12 ～ 14			1(1)	3				1(1)			2(1)	7(3)
14 ～ 16				1							3(3)	4(3)
16 ～ 18	1			2(1)				2(2)			1(1)	6(4)
18 ～ 20											1(1)	1(1)
20 ～ 22												
22 ～ 24												
合 計	3(2)		4(4)	7(1)				7(7)			9(7)	30(21)

() 内は活動件数を表す

地区別救助出場状況

平成28年中

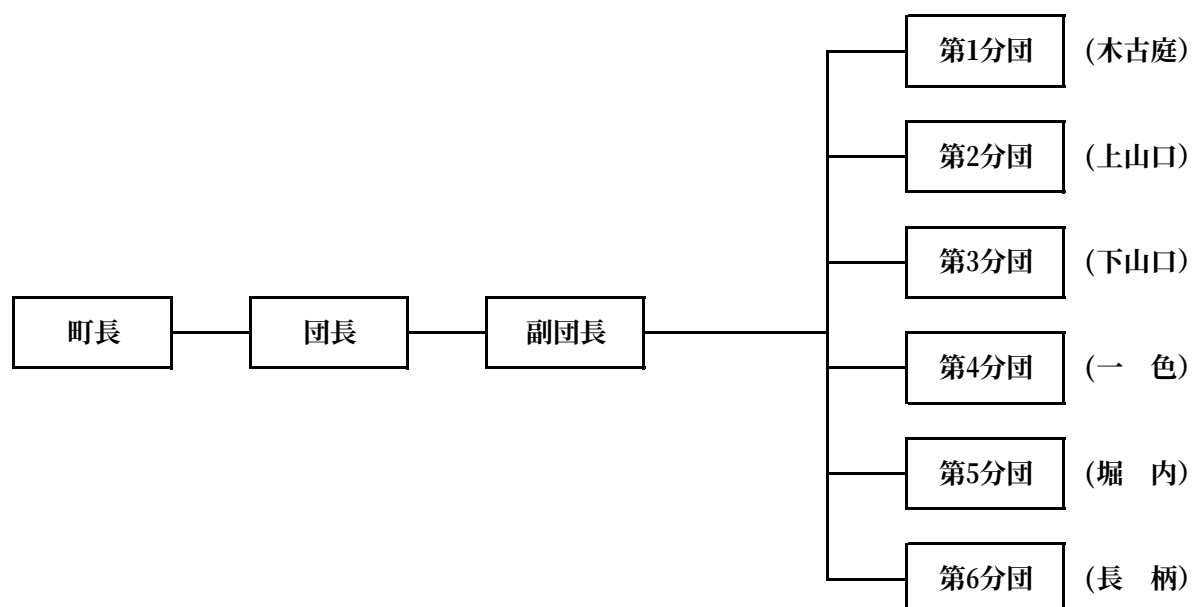
種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等	自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 事 他 故	合 計
	建 物	建 物 以 外										
木 古 庭	1											1
上 山 口			2					2			2	6
下 山 口			1	2							1	4
一 色	1		1									2
堀 内				5				4			3	12
長 柄	1							1			2	4
町 外											1	1
合 計	3		4	7				7			9	30

消 防 団 関 係



第 1 回葉山町操法大会風景

消 防 団 組 織 図



消 防 団 員 定 員 ・ 実 員

平成29.4.1現在

消 数 防 団	分 団 数	級階	団 長	副 団 長	分 団 長	副 長 分 団	部 長	班 長	団 員	合 計
		定員 実員								
1	6	定員	1	2	6	7	13	26	143	198
		実員	1	2	6	7	13	26	114	169

消 防 団 員 報 酬

平成29.4.1現在

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 長 分 団	部 長	班 長	団 員	技 術 員
年 額	92,000	72,000	56,000	47,000	38,000	33,000	32,000	23,000

消 防 団 員 出 動 費 用 弁 償

平成29.4.1現在

出 場	単位	金額	摘 要
災 害 出 場	1回	2,700	現場において業務に従事したものに支給する。
訓 練 出 場	1回	2,700	1日以上にわたるときは1日を単位とする。
警 戒 出 場	1回	2,700	同上

消防団詰所所在地

平成29.4.1現在

区分 分団	住所	構造	階数	敷地面積 (㎡)	延面積 (㎡)	完成年月日
第1分団	木古庭 606番地1 606番地3	鉄骨造	2	217.17	177.49	平成2年11月13日
第2分団	2404番地1 上山口 2405番地3 2408番地5	鉄骨造	2	207.60	117.75	平成11年3月26日
第3分団 (複合施設用途)	下山口 1705番地1	鉄骨造	1	679.61	85.05	平成9年11月28日
第4分団	一色 1503番地3	鉄骨造	2	337.00	123.41	平成13年3月27日
第5分団	堀内 774番地1	鉄骨造	2	311.40	113.96	平成15年3月17日
第6分団	長柄 488番地3	鉄骨造	1	756.00	122.42	平成29年3月31日

消防団員配置

平成29.4.1現在

階級 分団	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
本団	1	2						3
第1分団			1	1	2	4	17	25
第2分団			1	1	2	4	16	24
第3分団			1	1	2	4	19	27
第4分団			1	1	2	4	16	24
第5分団			1	2	3	6	26	38
第6分団			1	1	2	4	20	28
合計	1	2	6	7	13	26	114	169

消 防 団 員 年 齢

平成29.4.1現在

階 級 年 齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	合 計
18 ～ 24							9	9
25 ～ 29							17	17
30 ～ 34						3	19	22
35 ～ 39				1	4	10	20	35
40 ～ 44			3	4	5	6	23	41
45 ～ 49			1	2	2	5	15	25
50 ～ 54			2		1	1	8	12
55 ～ 59		1			1	1	3	6
60 ～ 64	1	1						2
65 歳 以 上								0
合 計	1	2	6	7	13	26	114	169
平 均 年 齢	62	59	46	42	43	41	37	

消防団員勤続年数

平成29.4.1現在

分 団 年 数	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
5 年 未 満		7	4	11	5	9	7	43
5 年以上10年未満		5	10	6	6	11	11	49
10年以上15年未満	1	3	5	5	8	9	4	35
15年以上20年未満	1	3	5	2	5	7	4	27
20年以上25年未満	1	2		2		1	1	7
25年以上30年未満		3		1				4
30 年 以 上		2				1	1	4
合 計	3	25	24	27	24	38	28	169

消防団出場状況

平成28年度

出 場	分 団	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団	合 計
	回 数 人 員								
火災	回 数	2		1	1	1	3	2	10
	人 員	6		8	12	13	26	27	92
訓練	回 数	14	6	6	6	14	12	8	66
	人 員	30	35	33	34	81	48	40	301
警戒	回 数	1	9	9	8	8	8	8	51
	人 員	3	79	80	72	69	84	79	466
風水害	回 数	1	1	1	1	1	1	1	7
	人 員	3	5	5	5	5	5	5	33
その他	回 数	2	3	3	3	3	3	2	19
	人 員	6	41	34	39	28	40	24	212
合 計	延 回 数	20	19	20	19	27	27	21	153
	延 人 員	48	160	160	162	196	203	175	1104

消防団現有車両機械

平成29.4.1現在

区分 分団	配置車両	車 両 会 社 名	年式	登 録 年 月 日	原 動 機 ポ ン プ				
					エンジン 社 名	気筒容積 (CC)	ポ ン プ 社 名	ポ ン プ 型 式	ポ ン プ 級 別
第1分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	17	平成17年 3月9日	日 野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小 型 動 力 ポ ン プ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第2分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	17	平成17年 10月20日	日 野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	26	平成26年 3月17日	ダイハツ	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		26	平成26年 3月17日	トーハツ	526	トーハツ	VF63AS	B-2
第3分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	20	平成20年 10月16日	日 野		G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	日 産	28	平成28年 12月9日	日 産	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		26	平成26年 9月16日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第4分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱	15	平成15年 11月20日	三 菱	5,240	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	スバル	20	平成20年 10月30日	ス バ ル	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1
第5分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	22	平成22年 3月19日	日 野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小型動力ポンプ 付 積 載 車	ダイハツ	22	平成22年 12月2日	ダイハツ	650			
	小 型 動 力 ポ ン プ		22	平成22年 12月2日	トーハツ	526	トーハツ	VF63AS	B-2
第6分団	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野	21	平成21年 10月15日	日 野	4,000	G M いちほら	GM2H2	A-2
	小 型 動 力 ポ ン プ		27	平成27年 6月23日	トーハツ	209	トーハツ	VF21BS	C-1

消 防 団 備 品 配 置

平成29.4.1現在

分 団 備 品	合 計	本 団	第 1 分 団	第 2 分 団	第 3 分 団	第 4 分 団	第 5 分 団	第 6 分 団
消 防 ポ ン プ 自 動 車	6		1	1	1	1	1	1
小 型 動 力 ポ ン プ	6		1	1	1	1	1	1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	4			1	1	1	1	
防 火 衣	123	3	20	20	20	20	20	20
防 火 帽	205	3	33	32	27	45	25	40
ヘルメット	170	3	19	24	30	29	42	23
ホース（50mm）	217		27	37	41	41	40	31
発 動 発 電 機	8		1	1	1	2	1	2
投 光 機	11		2	2	2	2	2	1
エアフォーム原液	17		3	3	3	3	3	2
エンジンカッター （チェーンソー）	6		1	1	1	1	1	1
デジタル簡易無線機	58	3	8	8	8	8	15	8
特 定 小 電 力 無 線 機	33	3	5	5	5	5	5	5
救 命 胴 衣	90		10	10	20	20	20	10

平成29年版消防年報

編集・発行 葉山町消防本部

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内2050番地10

TEL 046(876)0119 FAX 046(876)1263